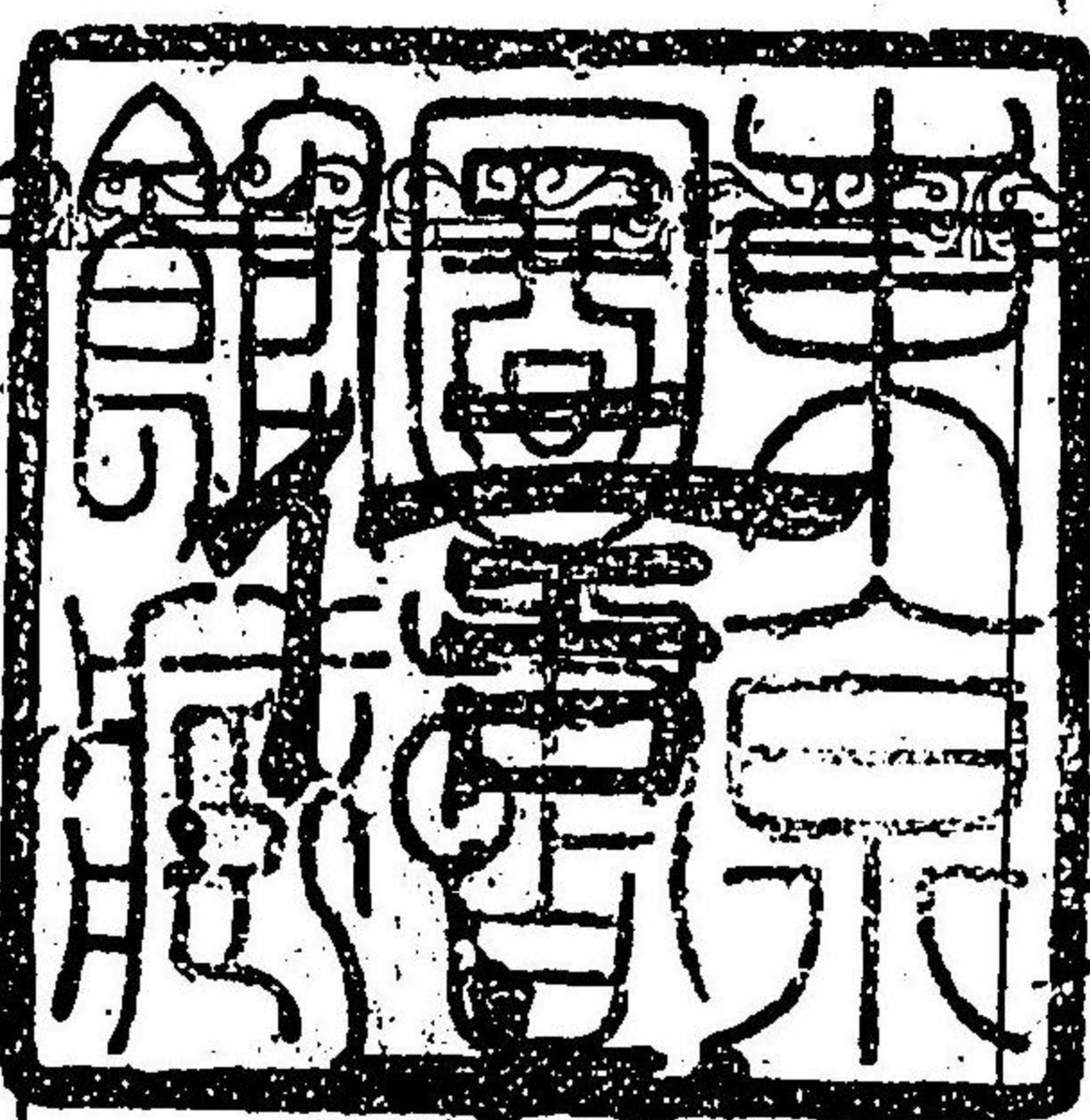


特 18
533

明治二十年二月七日
寄贈 2699

白
極
潔
譯



日
本
人

再
版

明治十六年二月
正
教
會

信者本分序

白極子清近譯信者本分一卷
余清序言皆記我基督信者
不可不嚴守各條也蓋人莫
不有本分然而為異端邪說之
所惑而不知本分者天下不可

勝算也。此書原本聖經教會之
分。國家之分。交際之分。凡百信
者。本分無不網羅。具舉。豈可與
異端邪說之書同視乎。實為信
者之軌範矣。予清講西書有年
未嘗懈一日。而今為此譯。可謂

耐忍勉強不屈其志者矣。信者
誠能確守此書。則教中聖者
矣。今世輕薄書生。專講英佛之
學。而不知教法為何物。其果如
子清者有幾。又余與子清同鄉
同教友。今且有此譯。安得不序

之濟其美乎

明治十六年二月上浣

影田但以理撰

信者本分目錄

緒言

信者ノ本分ヲ論ス

一 張

信者ノ本分ノ分種

一

信者行狀ノ一種特別ノ性質

二

第一章

神ニ對スルノ本分

七

神ニ對スルノ本分ノ大旨

八

内沁ヨリ神ヲ尊敬スルヲ

十

神前ニ虔敬スルヲ

十一

一

神ヲ愛スルヲ	十九
神ニ從順スルヲ	廿四
神ニ感謝スルヲ	廿七
神ニ依頼スルヲ	卅四
己ヲ神ニ委托スルヲ	四十
形体ヲ以テ神ヲ恭敬スルヲ	四十八
形体恭敬ノ種類	五十二
祈禱ノヲ	五十二
神ヲ讚榮スルヲ	六十三
神ヲ信仰スルヲ	六十九

第二章

誓約ノヲ	七十三
私祈禱	七十七
公祈禱	七十九
公祈禱場ノヲ	八十六
公祈禱ノ定期ノヲ	八十八
外体ノ尊敬ヲ誤マルノ預戒	九十一
自己ニ對スルノ本分	九十二
自己ニ對スル本分ノ分種	九十四
靈魂ニ對スルノ本分	九十七

靈才ヲ精成スルノ本分 百二
 自己ノ智慧ニ對スルノ本分 百四
 意ニ對スルノ本分 百十二
 良心ニ對スルノ本分 百十七
 自己ノ身体及ヒ總テ今生ニ對スル本分 百廿二
 世ノ幸福ニ對スルノ本分 百卅一
 富貴ニ對スルノ本分 百卅三
 社會ノ公務ニ對スルノ本分 百四十一
 名譽或ハ高名ニ對スルノ本分 百四十五
 世ノ幸福ニ關スルノ總論 百五十四

第三章

信者生命ノ快樂ニ對スル本分 百五十六
 信者ノ不幸ニ對スル本分 百六十一
 信者ノ隣ニ對スルノ本分 百七十三
 隣トハ誰ナルヤ 百七十四
 何ヲ以テ隣ヲ愛スベキヤ 百七十七
 隣ニ顯ハスベキ愛ハ何如ナルヤ 百八十
 敵ヲ愛スルヲ 百八十三
 如何ナル働キト行トヲ以テ隣ニ愛ヲ顯ハスベキヤ 百八十八
 人ノ行狀ヲ精成スルノ本分 百八十八

隣ノ生命ト其健康ニ對スルノ本分 百九十九
 續補 二百六
 他人ノ幸福ニ對スルノ本分 二百十
 他人ノ所有物ニ對スルノ本分 二百十三
 他人ノ名聞ニ對スルノ本分 二百十九
 死者ニ對スルノ本分 二百廿五

第四章

信者ノ一家ニ對スル本分 二百廿八
 一家ノ成立 二百廿九
 婚配ノ輕ンズベカラザルヲ 二百廿九
 婚配ニ己ヲ備具スルヲ 二百卅六

妻ヲ娶ルヲ 二百卅七
 夫妻相互ノ本分 二百四十二
 夫妻ノ貞潔 二百四十三
 相愛ノ情 二百四十六
 貞潔ノ情 二百四十七
 夫ノ本分 二百四十八
 妻ノ本分 二百四十九
 父每ノ本分 二百五十一
 子ノ父母ニ對スルノ本分 二百六十一
 主ノ僕ニ對スルノ本分 二百七十
 僕ノ主人ニ對スルノ本分 二百七十六

第五章

信者ノ教會ニ對スル本分

二百八十

社會ノ各員ノ總本分

人民ノ國帝ニ對スル本分

二百八十三

官長タルモノ、本分

二百八十九

社會ノ種々ノ職分ニ對スル總本分

二百九十四

第六章

信者ノ自國ニ對スル本分

二百九十七

教衆ノ分種

二百九十七

牧者ノ本分

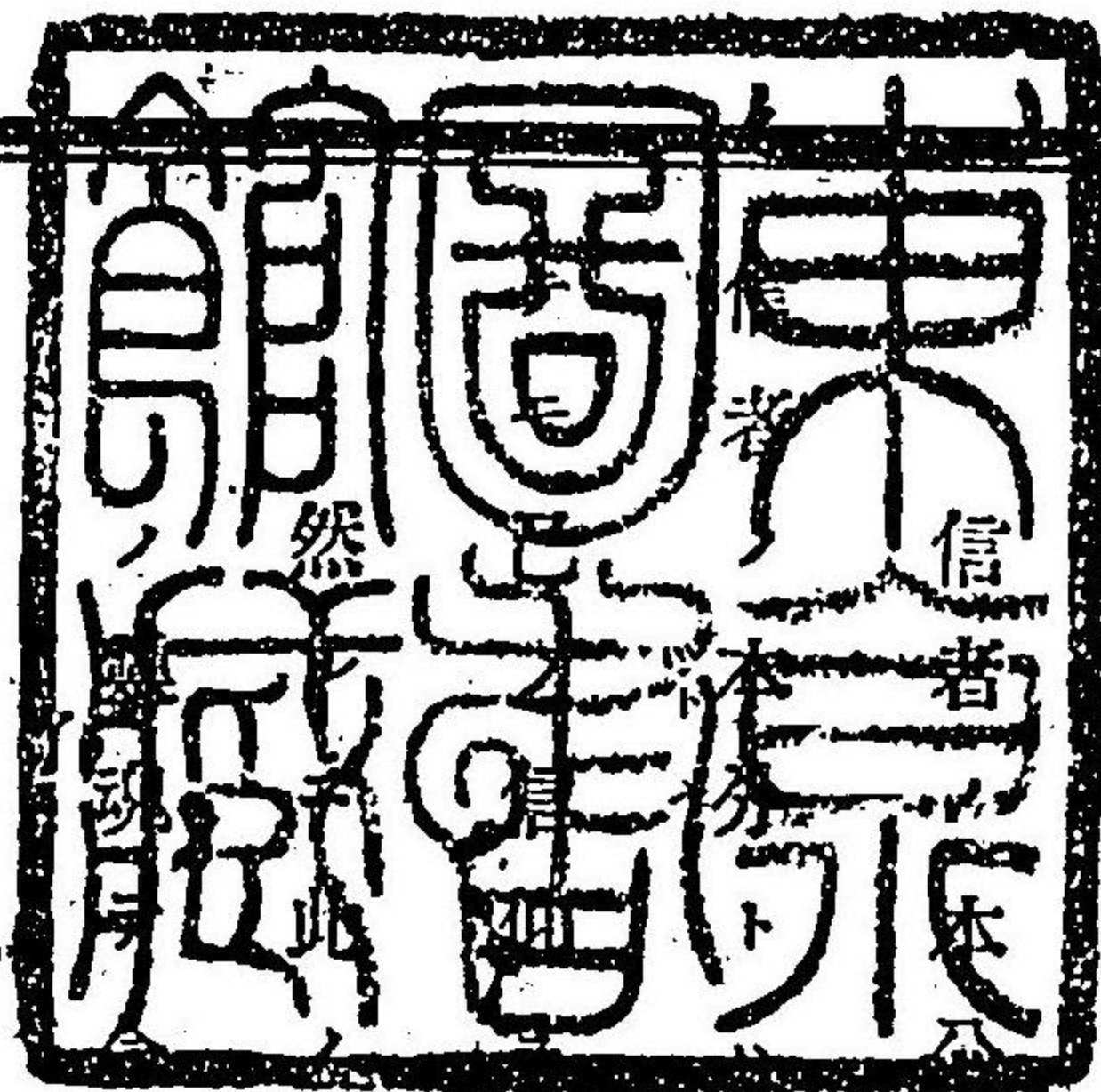
二百九十七

被牧者ノ本分

三百五

信者本分

緒言



信者本分

ヲ論ス

何シヤ神言ノ命スル所ヲ守リ且何事ニ於

實行ニ顯ハスヘキノ本分ヲ云ナリ

本分ハ唯外形現事ノミチ云ニ非ラス内部

セテ云即チ思想心地感動是ナリ

信者ノ本分ノ分種

凡ソ信者ノ此ノ世ニ對スルノ關係ヲ分チテ三トナス。一ハ神ニ對スルノ關係。二ハ人ニ對スルノ關係。三ハ自己ニ對ス

ルノ關係是ナリ故ニ其本分モ亦分チテ三トナス。一ハ神ニ對スルハ本分。二ハ人ニ對スルハ本分。三ハ自己ニ對スルハ本分是ナリ人ニ對スルノ本分ニ於テ又分別アリ乃チ信者タル者ハ必ス族人ニハ族人ニ應スルノ本分。國人ニハ國人ニ應スルノ本分。教會ニハ教會ニ應スルノ本分ヲナサズンハアルベカラス。故ニ之ヲ分チテ三トナス。即チ族人、國人、教會ニ對スルハ本分是ナリ

信者行狀ノ一種特別ノ性質

何ニ由リテ信者ノ行狀ハ一種特別ノ性質有ル乎是レ唯愛アルニ由ルノミ此ノ愛ニ二種アリ一ハ神ヲ愛スルノ愛ニ

ハ此愛ト瞬間モ離ルベカラザルノ愛即チ人ヲ愛スルノ愛是ナリ此二愛アリテ信者ノ行ニ一種特別ノ性質アル所以ノ理由ハ皆聖教ノ真理ニ昭昭タリ主イエイススハリストス及ヒ聖使徒曾テ此ノコトニ就キテ我等ニ訓誡セラレシ明言ニ由リテ最モ顯然見ルヲ得ベシ而メ主イエイススハリストス殊ニ此ノ二愛ヲ稱シ誠命ノ首ト爲セリ故ニ我等ノ諸行ハ必コノ誠命ニ相適合セズンハアルベカラズ聖書我等ニ訓誡シテ曰ク爾宜シク盡心盡性盡意シテ主爾ノ神ヲ愛セヨ是レ誠ノ首ニシテ大ナルモノ次ハ人ヲ愛スル已チ愛スルカ如クセヨ亦猶是ノ如シ全律法ト預言者トハ皆此ノ二

誠ニ包含スト（馬太二十二章ノ三十五節ヨリ）凡ソ人ヲ愛スルノ愛ハ皆神ヲ愛スルノ愛ニ基ツクモノナレハ神ヲ愛スルノ愛ナキハ人ヲ愛スルノ愛無キモ亦當然ノ理ナリ是ヲ以テ主イエスハ唯人ヲ愛スルノ愛ノミヲ稱シ聖書ニ誠命セラシ諸本分ノ根源トナヒリ聖書ニ曰ク爾凡ソ人ノ之ヲ施サンコトヲ欲スレハ此ノ如ク爾モ必之ヲ人ニ施セ蓋律法ト預言者トハ皆此ノ如シト（馬太七ノ十二）又主イエス此ノ愛ヲ以テ信者ノ眞ニ義人タルノ標的トナセリ主曾テ門徒ニ語テ曰ク爾若シ相愛ノ情アラバ人此レニ由リテ爾ヲ稱ソ我カ門徒トナサントスト（イテアノ十三ノ三十五）我等相愛ノコトハ

使徒ノ書札ニ於テモ亦明カニ之ヲ視ン主イエスノ愛徒イオアンハ神ヲ愛スルノ愛ト人ヲ愛スルノ愛ヲ稱シ誠命ノ首大ノモノトナセリ且其ノ書札ヲ閱スルニ皆溫柔ノ愛ヲ以テス今ソノ一端ヲ舉ケン其ノ言ニ曰ク吾カ小子ヤ我等必神ヲ愛スベシ神先ニ我等ヲ愛スレハナリ又曰ク我カ愛スル所ノ者ヤ我等宜シク彼此相愛スベシ蓋愛ハ神ヨリ生出ス且愛スルモノハ神ヲ識ル愛セサルモノハ神ヲ識ラズ蓋神ハ即チ愛ナリト（イテアノ前書三ノ十八、四ノ七、八）使徒ヤコフモ亦此ノ一誠ヲ名ケテ國法ノ大誠トナセリ其ノ書ニ曰ク我カ愛スル所ノ兄弟ヤ爾若シ聖書ニ載スル所ノ王法即チ人ヲ愛ス

誠ニ包含スト（馬太二十二章ノ三十五節ヨリ）凡ソ人ヲ愛スルノ愛ハ皆神ヲ愛スルノ愛ニ基ツクモノナレハ神ヲ愛スルノ愛ナキキハ人ヲ愛スルノ愛無キモ亦當然ノ理ナリ是ヲ以テ主イエススハ唯人ヲ愛スルノ愛ノミヲ稱ソ聖書ニ誠命セラシ諸本分ノ根源トナヒリ聖書ニ曰ク爾凡ソ人ノ之ヲ施サンコトヲ欲スレハ此ノ如ク爾モ必之ヲ人ニ施セ蓋律法ト預言者トハ皆此ノ如シト（馬太七ノ十二）又主イエスス此ノ愛ヲ以テ信者ノ眞ニ義人タルノ標的トナセリ主曾テ門徒ニ語テ曰ク爾若シ相愛ノ情アラバ人此レニ由リテ爾ヲ稱ソ我カ門徒トナサントスト（イテアノ十三ノ三十五）我等相愛ノコトハ

使徒ノ書札ニ於テモ亦明カニ之ヲ視ン主イエススノ愛徒イオアンハ神ヲ愛スルノ愛ト人ヲ愛スルノ愛ヲ稱ソ誠命ノ首大ノモノトナセリ且其ノ書札ヲ閱スルニ皆溫柔ノ愛ヲ以テス今ソノ一端ヲ舉ケン其ノ言ニ曰ク吾カ小子ヤ我等必神ヲ愛スベシ神先ニ我等ヲ愛スレハナリ又曰ク我カ愛スル所ノ者ヤ我等宜シク彼此相愛スベシ蓋愛ハ神ヨリ生出ス且愛スルモノハ神ヲ識ル愛セサルモノハ神ヲ識ラズ蓋神ハ即愛ナリト（イテアノ前書三ノ十八、四ノ七、八）使徒ヤコフモ亦此ノ一誠ヲ名ケテ國法ノ大誠トナセリ其ノ書ニ曰ク我カ愛スル所ノ兄弟ヤ爾若シ聖書ニ載スル所ノ王法即人ヲ愛ス

ル己ヲ愛スルカ如クセヨト云フノ誠ニ循ガハト則善ヲ行
 フニ異ナルナシト（ヤコフ二）徒使ペートルモ同シク之ヲ我
 等ニ訓誡シタリ曰ク爾皆宜シク心ヲ同ウシ恤ヲ偕ニシ愛
 チ主トシ慈ヲ施シ禮ヲ尽スベシ及ヒ惡ヲ以テ惡ニ報イ
 チ以テ訴ニ報ユル勿レ反テ之ヲ祝スルニ福ヲ以テセヨ此
 ノ如クナレハ爾此カ爲メニ神召チ蒙リ福ヲ享クル者トナ
 ラント（ペートル前）殊ニ此ノ誠命ヲ明説シテ信者百行ノ一
 大先務トセシハ聖使徒パウエルナリ且之ヲ名ツケテ諸誠ノ
 基本トナシ以爲ラク諸誠皆此ノ一言ニ包含スト（ロマ書十
 五ノ十四テヤ）又之ヲ稱ノ信者ノ諸性諸行ノ最肝要ノモノト

ナシ以爲ラク之ナクンハ信者ハ何ノ徳ヲモ保全スルヲ能
 ハズト今其書札ヲ見ルニ曰ク我レ能ク諸國ノ方言及ヒ天使
 ノ言ヲ言フト雖ヒ愛ナクンハ則銅ノ鳴ルカ如ク鍍ノ響ク
 ガ如シ我レ預言ノ能アリテ諸ノ（オキキ）奧義ト諸ノ知識ヲ明ラカニ
 シ且諸信アリテ能ク山ヲ移スチナスト雖ヒ愛ナクンハ則
 爲スナシ凡ソ我カ有ル所ヲ盡シテ以テ貧ヲ濟ヘ又軀ヲ捐
 テ（コリ）焚（コリ）ニ就クト雖ヒ愛ナクンハ則我カ益ヲナサズト（コリ）
 前書十三ノ
 一ヨリ三ノ

第一章 神ニ對スルノ本分

神ニ對スルノ本分ノ大旨

夫レ神ニ對スル本分ノ其主意ハ或ハ神ヲ識認シ或ハ神ヲ
 信仰スルニアリ(信者ノ神ヲ識認スルノ識認ハ一ニ神ニ於
 ケル信仰ト稱スベシ蓋信者ノ此ノ識認ヲ得ルニ至ルハ全
 ク自己ノ力ニ因ルニ非ス乃チ神示ニヨリテ之ヲ汲得スルナ
 リ)是故ニ我等ハ自力ノ及フ所ヲ盡シ神ヲ識認スルノ知識
 ナ求ルヲ以テ其大主意トナサズハバアルヘカラズ今其知識
 識ヲ左ニ舉ケン

第一) 眞正ノ知識ナリ此ノ知識ハ世ノ姦惡妄信ノ思慮ニ
 混スルモノニ非ス故ニコノ知識ヲ有ツモノハ必大罪ニ陷

イルヲナシ之ニ反シテ若誰カ不正ノ知識ヲ有ツアテラバ
 從テ遂ニ大罪ニ陷ルニ至ラン蓋不正ノ知識ハ常ニ大惡ノ
 根原基礎トナルモノナレバナリイイススハリストス嘗テ
 門徒ニ謂テ曰ク時將サニ至ラントス此時ニ當リ凡爾ヲ殺
 スモノ必言ハン是乃神ニ事フルナリト其レ之ヲ行フハ畢
 竟父ト我トヲ識ラザルカ故ナリト イチアシノ 六ノ二三 後此ノ預言
 果メ驗アリ

第二) 基本ノ知識ナリ此知識ハ之ヲ有ツモノヲシテ或ハ
 妄信或ハ不信ヨリ固ウセシムルモノニシテ人若シ誰カ之
 ナ得ルアレバ使徒ノ言ヒシ如ク 狭狹ナル巧詐ニ惑迷セラ

ル、ナク諸教ノ邪風ニ誘動セラレ、ナキヤ必セリ故ニ
 我等必此ノ知識ヲ求ムルヲ勤メサルヘカラズ若シテザレ
 ハ妄信若クハ不信ノ祭物トナル亦難キコアラズ
 第三 活潑或ハ結菓ノ知識ナリ、此知識ハ之ヲ有ツモノヲ
 シテ^{ビシ}勉^{ビシ}神誠ヲ遂ゲシム故ニ常ニ何所ニ限ラス信仰ノ眼
 目ヲ以テ神ヲ認視シ且己ノ内心神ニ感觸シテ以テ神ヲ忘
 ル、ヨリ生スル種々百般ノ不善汚穢ヲ避ケ神ノ誠命ヲ遂
 ケントシノ心ヲ^{アゲ}昂^{アゲ}起^{アゲ}奮^{アゲ}勵^{アゲ}スルニ至ル
 内心ヨリ神ヲ尊敬スル
 我等真正ノ知識ト活潑ノ知識ヲ以テ神ヲ識認シ又神ノ大

ナル完全及ヒ其我等ニ關涉スル所ヲ一々識認スレバ從テ
 我等神ニ對スル種々ノ傾心若クハ感覺ヲ靈心ニ發起スル
 ニ至ル之ヲ稱シ内心ノ尊敬トハ云ナリ是レ我等ノ必自心
 ニ涵養スベキモノニシテ即、虔敬、愛情、從順、感謝神ニ依頼ス
 ルヲ已テ神ニ委託スルヲ如キ皆是レ内心ノ尊敬ナリ
 神前ニ虔敬スル
 我等何ニ由リテ虔敬、震恐ヲ神前ニ盡スヲ得ベキヤ他ナシ
 神ノ最貴、最高、且ツ全能、全權ニ信服シ我身ノ輕微ナル一毛
 ノ如ク全ク神ニ附属スルモノタルヲ覺知スレハ自然ニ此
 ノ虔敬震恐ヲ神前ニ遂クルニ至ル聖書此事ヲ我等ニ^{ホシ}附^{ホシ}
^{イヒツケル}

スルヲ明ナリ使徒パウエル曰ク我等震ス可ラザルノ國ヲ得
 タレバ宜ク其恩ニ感シ且ツ虔恭寅畏ヲ以テ神ニ事ヘテ其
 悦ブ所ノ如クスベシト(エウレイハ)又使徒ペートル曰天父
 人ヲ偏視スルヲナシ唯其行事ニ由リ以テ之ヲ鞠スルノミ
 爾既ニ父ヲ顧ヘバ則此ノ世ニ寄生シ以テ當サニ日トシヨリイキ傲
 傷セザルヲナカルヘシト(ペートル前書)若シ此虔敬ニ我等
 ガ醜行ノ相觸ル、シツアレバ遂ニ必徳行ノ爭敵トナラン即チ
 徳行ニ抗抵スルノ兵器是ナリ古賢此理ヲ明ニシ曰ク凡ソ
 神ヲ恐怖スルハ是レ罪ヲ擯斥スルノ證ナリト(シラフ一)人若
 シ此虔敬ヲ維持セバ其神ニ關スルヲ皆聖淨潔清ニ至ラン
モツ

視ヨ此ノ如キ者ハ假令些少ノ談話ナリトモ妄リコ神名ヲ
 輕呼スルナク又常ニ誓約ニ違犯スルヲナキナ且ツ宗教ニ
 關スルヲニ至リテハ漫リニ言話ヲ吐露スルヲナシ且ツ凡ソ神ヨ
 リ出ツルモノト萬有恩寵ノ國ニ設立セラレタル定法及ヒ
 人間社會ニ設立セラレタル定法ヲ威ク尊崇シ一モ神旨ニ
 違フヲナシソレ斯ル虔敬ナル者ニ於テハ假令些少ノ惡意
 ト雖厄何ヅ其ノ心中ニ萌サンヤ苟モ斯ル虔敬ヲ以テ唯
 至聖ニシテ善事聖事ノミヲ愛慕スルノ神ヲ信認スルモノ
 ニ至リテハタトヒ些々タル惡意タリトモ何ノ間隙アリテ
 カ其心中ヲ侵スベキヤ主ヲ敬畏スルイナシフ即ヤコフノ
スキマ

子嘗ナゲク慨歎ナゲクノ日嗚呼ア我豈惡言ヲ作シ而シ主神ノ前ニ罪ヲナ
 サンヤト彼レ果ソノ誼チンヒ媚ヘツラフノ誘惑ニ克カテリ觀ルベシ此ノ如キ
 虔敬ナルモノニ至リテハタトヒ瑣々スソシタル罪念ト雖ヒ斷ノ
 其心中ニ萌スコナキナ
 又此ノ虔敬ハ我等ノ盈タカブ設シマシ自負ノ心ヲ預戒メ之ヲ擯斥シリンケルスル
 モノナリ蓋我等若シコノ虔敬アリテ神ノ純全ヲ認メ神ノ
 至聖至智タルヲ思ヘバ我等ハ諸德、善行、聰慧、ノ一モ有ル無
 キヲ覺ユベシ是レ即チ盈設自負ノ心ヲ擯斥スル所以ニシテ
 其証詩篇ニ明ラカナリ聖詠者嘗テ天ヲ仰キ泣歎ノ日我爾
 カ造ル所ノ穹蒼及星月ノ輝光ヲ觀ルニ世人果ノ如何ナル

モノゾ實ニ微且弱ナルモノニ非スヤ然ルニ爾殊ニ之ニ思
 念ヲ垂ルト（詩篇八ノ三ヨリ五）

夫レ眞實ノ虔敬ハ神前ニ在リテ神ヲ愛スルノ純愛ト相適合
 スルノミナラズ素ト純愛ト虔敬トハ互ニ相須ツモノニシ
 テ恰モ人休ノ手足ヲ具スルカ如シ蓋實愛ノ由リテ起ル所
 ナ察スルニ虔敬ヲ以テ源モト因トナス而シテ虔敬ハ受愛者ノ完
 備ヲ視テ生スルモノナリ神ニ至リテハ其完全ノ大ナルコ
 限カキリ涯アルナシ故ニ世人何事ニ就キテモ自己ノ輕微ニシテ
 全ク神ニ附屬スルモノタルヲ識認スルヲ以テ神ヲ熱愛ス
 ルニ至リテハ其之ニ接スル常ニ同輩ト交ルカ如キノ一親

愛ノミチ以テスル能ハサルナリ何トナレバ世人若シ神ヲ
 シテ同輩ノ如クナラシメ之ニ接スルニ一片ノ親愛ノミチ
 以テシテ己ノ靈魂ニ神ヲ愛スルノ純愛ト敬畏ノ深キ虔敬
 ト偕ニ合スルナクンバ遂ニ將ニ神ニ對スル關係ヲ忘ル、
 ニ至ラントス

此ノ神前ノ虔敬ハ信者ノ必、靈心ニ涵養スベキモノニシテ
 子タルノ恐懼是ナリ婢僕ノ徒ヅラニ主人ノ嚴格ト私利ニ
 感ノ辛苦スルカ如キ毫モ愛心ナキノ恐懼(約翰前書四ノ十八)ニハ非
 ラスシテ乃チ信者ノ神ヲ愛シ且其至聖ナルヲ認識スルノ活
 潑ヨリシテ神意ニ忤フヲ懼ル、チ云フ然レ凡信者ノ神意

ニ循フハ其罰ヲ懼ル、爲メニ非ラサルナリ夫レ此恐懼ハ
 素ト愛ニ基ツキ且愛ト密接スルモノナリト雖也唯其ノ愛
 ノ外現スルニ當リ變ノ愛ト其ノ形狀ヲ異ニスルノミ而シテ以
 テ喜樂ノ根原トナルベシ占賢之ヲ明カシ曰ク神ヲ懼ル、
 ハ以テ其ノ心ヲ樂マシメ以テ其心ヲ喜ハシメ又以テ長命
 ナ與フベシト(シラフ一)

然ルニ今我等ノ状態アリサマヲ以テ之ヲ察スルニ神前ノ虔敬ニ於
 テ免レ難キノ恐懼或ハ感覺アリ感覺トハ神ノ全能及其ノ
 信賞マコトニホメカチラスシカル必罰オモヲ念フテ内心ニ發スル所ノモノナリ人素ヨリ世
 ノ情慾ニ沉溺セザルモノナキ故己レ神ニ對スルノ關係ヲ

識悟スルヲアレハ必其ノ心ニ恐懼震慄ヲ起スニ至ルヤ理
ノ方ニ然ラシムル所ナリ然ルニ此ノ恐懼震慄ハ最モ德行
有ルモノニモ亦其ノ心ニ沸起スルヲ往々コレアリ(是レ聖
傳ニ屢見ル所ナリ)今此ノ二三ノ例ヲ舉ケテ之ヲ証セン彼
ノ聖人ナルモノハ常ニ已ノ不満足ヲ覺知スルユエ其ノ心
ヲシテ恐懼震慄ヲ脱セシムルヲ能ハズ又神ノ至聖ニシテ
信賞必罰ナルヲ識認スルユエ常ニ心中ニ恐懼震慄ヲ起メ
止マズ是レ其ノ一証ナリ又天災地變或ハ世間ニ現見スル
變動アルニ當リタトヒ虔敬ニシテ神ヲ愛慕スルノモノト
雖^ニ俄然^ニ其心ニ恐懼震慄ヲ發起スルモノ往々之アリ是レ

其ノ二証ナリ此ノ恐懼ノ我等ニ有益ナルヤ乃^チ我等ヲ諸惡
ヨリ防護シテ能ク善行ヲナサシムト雖^ニ唯我等ノ職務ヲ
遂ケントスルノ尤モ切要タル勉勵ノ基礎ニ至リテハ固ヨ
リ之ヲ要トナスヘカラス何トナレハ信者タルモノ、其ノ
職務ヲ全クセンニハ必、萬端ノ善行ヲシテ神ヲ愛スルノ純
愛ヨリ流出セシメサルベカラザルヲ以テナリ
神ヲ愛スル事
我等若シ神ノ完全ヲ識認スレハ其ノ心ニ驚愕ト虔敬ヲ發
生スルノミナラズ從テ復タ喜樂ト熱愛ヲモ發生スベシ喜
樂トハ即^チ神ノ廣大ナル美善ヲ認識シテ後、發スルモノ熱愛

トハ神ノ眞ニ愛スベキヲ認感ノ後、發スルモノナリ蓋シ我等
 神ノ廣大ノ妙工ト救贖ノ大業ヲ顯照スルニ當リ其ノ心ニ
 驚愕ヲ起カヰルヲ得ズ或ハ神ノ造物中ニ包含スル無涯ノ
 智ト天地ヲ蓋フベキ無涯ノ愛ヲ認感スルニ當リ其ノ心ニ
 喜樂ヲ起スヲ恰モ魂ヲ奪ハルカ如クナラサルヲ得ス若シ
 吾人ノ命運ノ歸スル所ハ唯慈仁ニシテ吾人ニ善事ノミヲ與
 フル主神ノ權ニノミ在ルモノト深ク思慮認感スルニ當テ
 ハ其ノ心ニ喜悅ノ感覺ヲ起シ從テ神ヲ愛スル將サニ純全
 ニ至ラントスルノ希望ヲ奮起セザルヲ得ズ聖書ニ曰ク神
 ヲ愛スルハ方サニ宗教ニ於テ最モ首大タルモノナリ故ニ爾

盡レ心盡レ性盡レ意以テ主爾ノ神ヲ愛セヨ (復傳律例) (馬太二十二
 八)

主イエイススハリストスハ神ニ於ケルノ子愛テ我等ニ固ク
 センカ爲メ神ハ天地ノ公父タルヲ猶ホ慈愛ノ父ノ如シト
 (馬太五ノ四、五、六、九、路加十一ノ三、十二)云フヲ我等ニ顯示セリ
 何チ子愛ト云フ即チ何所ニ限ラス不斷父ヲ思念シ安堵喜慰
 チ以テ己ノ職務ヲ遂ケ而シ其ノ父ノ慈仁ニ憑リ其ノ勞ニ
 相應ズルノ報賞ヲ得ルニ至ルモノヲ云ナリ然ルニ此ノ子
 愛ヲ有スルモノハ必、眞ノ德行ヲ具ヘテ之ヲ子愛ノ基趾ト
 セザレハ假令誠命ヲ遂クル由コレ唯虛飾或ハ困苦ノ勞タ

ルノミ若シ子愛ノ德行ニ基ツクモノニ感徹セラルレハ其
 ノ誠命ヲ遂クハヤ大ナル快樂ヲ得ベシ（詩百七十九ノ十）若
 シ此ノ子愛ニ感徹セラレズンハ如何ニ自力ノ及ブ所ヲ盡
 スル己ノ淺量劣弱ト諸ノ障礙ニ因リ一々己ノ欲スルカ如
 シ神旨ヲ遂クル能ハスシテ徒ニ煩勞困苦スルニ至ルヘシ
 人若シ心ヲ正善ニ傾ムケ諸ノ不義不善ヲ厭忌シ（イトヒ）又能ク愛
 ヲ近隣ニ顯ハセバ從テ神ニ於ケルノ眞愛自ラ現出スルニ
 至ラン若シ心ヲ正善ニ傾クルナク諸ノ不義不善ヲ行ナヒ
 又能ク愛ヲ近隣ニ顯ハスヲナクンバ從テ神ヲ愛スルノ眞
 愛モ亦斷ッ現出スルヲナシ其証、聖書ニ明カナリ曰ク人若

シ我レ神ヲ愛スト言ヒテ其ノ兄弟ヲ憫マハ豈之ヲ愛ト謂
 フ可ケンヤ乃チ之ヲ謊ト云フベシト（イナアノ前）
 夫レ眞ニ神ヲ愛スルハ人ノ最大幸福コシテ若シ人誰カ此
 ノ愛ヲ得シナラハ是レ其ノ幸福ヲ求メ得タリト云フベシ
 而シテ萬民望ム所ノ幸福ハ此ヲ以テ至極トナス聖詠者此ノ
 愛ニ感徹セラレ泣歎ク曰ク彼ノ穹蒼ニ在リテ仰キ望ムモ
 ノ誰ヅヤ彼ノ陸地ニ在リテ欣羨スルモノ誰ヅヤ豈爾ニ非
 ラスヤ我レ若シ我カ心ニ軀スレハ滅亡スベシ唯我レ恃
 ンテ以テ大力ヲ得、頼ンテ以テ永福ヲ得ル所ノモノハ惟一
 上帝ノミト（詩篇七、二十三、二十六）

神ニ從順スル

吾人若シ己レガ鍾愛スルモノ、志望命令ナラバ必好ソテ之ヲ成スベシコレ人情ノ然ラシムル所ナリ是ノ故ニイエススハリストス我等ニ語テ曰ク人若シ我ヲ愛スレバ則我カ言ヲ守ルモノナリト(イテアソノ四ノ二十三)此ヲ以テ之ヲ觀レバ眞ノ愛神情ト從順忠信トハ互ニ相須ツモノナレハ我カ志望ヲシテ務メテ神ノ志望ニ體セシムベキナリ故ニ從順ノ心ナキ者ハ又必、愛神情モナカルベシ聖書ニ曰ク神ヲ愛スルハ是レ神誠ヲ守ルナリト(イテアソノ前)眞ニ神ニ從順スルト當サニ左ノ如クナルベシ

一 喜好ノ從順ナリ此ノ從順タルヤ即チ神罰ヲ懼ル、ニヨリ神ニ從順ナルニハ非ラス乃チ神ヲ愛シ神ノ聖誠ヲ崇ガメ尊トムヨリ從順ヲ盡スヲ謂フナリ

二 完全ノ從順ナリ此ノ從順タルヤ唯誠命ノ一ヲ守ルヲ云ニ非ラズ全律法ヲ守ルヲ云ナリ聖書之ヲ我等ニ訓ヘテ曰人若シ全律法ヲ守リ而シテ其ノ一ヲ犯サハ是レ全律法ヲ犯スモノト謂フベシト(ヤコフ二ノ十。十一)

三 不斷ノ從順ナリ此從順タルヤ則我等ノ神師イエススハリストスカ聖父コ孝ヲ盡サンカ爲ノ比類ナキノ苦處ヲ刑架ノ上ニ受ケタルヲ見、縱令ヒ其現狀ノ如何ヲ見サルモ

常ニ心ニ其ノ從順ヲ催萌セサルヘカラス是之ヲ所謂ル不
斷ノ從順トハ云ナリ(使徒行傳四ノ十九)
吾人斯レル從順ヲバ盡意以テ神前ニ顯ハサバサルヘカラス
其ノ故ニアリ

一 此ノ從順ノ神前ニ嘉納セラル、ト諸獻祭ヨリモ勝サ
レハナリ(撒母耳前書十)

二 神ノ全律法ハ皆至智至善ノ主宰ヨリ授カリタル規條
ニシテ我等ノ最モ至義至善ノ法律ナレハ宜シク之ニ從順
スベシ聖書ニ曰ク律法ハ即チ聖ニシテ義且善ナリト(羅馬書
七ノ十)
二) 聖詠者曾テ泣歎ノ曰ク我レ爾ノ律例ヲ觀ルニ千億ノ金

銀ヨリモ貴シト(詩篇百二十九)各人苟モ自己ノ實驗ニ由リテ
モ此ノ律法ノ至善ナルヲ証スベシ蓋吾人此律法ヲ奉行ス
ルノ力至テ弱ケレモ其ノ靈魂ニ平安、喜悅、健康、ヲ得、又盡力
勤勉メ此律法ニ循カヒ依ラバ縱令此ノ世ノ變移シヤスキ
幸福ヤ諸ノ騷擾ニ遇フトモ常ニ幸福ヲ得テ心ニ和樂ヲ覺
知スルハ必然ナリ故ニ我等此ノ律法ノ至仁且至聖ナルヲ
認メテ必之ニ順ハズンバアルベカラス

神ニ感謝スルコト

人此世ニ在リテ神ノ仁惠ヲ蒙ラザルモノナシ平常飲食ス
ル所、被服スル所、喜樂スル所萬事皆在天ノ施恩者ニ依ル又

吾人ハ主イイススハリストスヨ依リテ天國ニ入ルベキノ
 權ヲ得タルヲ以テ是ノ高位ニ昇ラントスルノ大主眼ヲ有
 ス是ノ大旨眼ヲ達スルニ自カラ方法アリト雖モコレ皆神
 ヨリ賜ハリタルモノニシテ其仁惠ノ深キト豈ニ測ルニ勝
 フベケンヤ是ノ故ニ我等斯、ル無涯ノ大惠ヲ思念スルニ
 當リ在天ノ施恩者ニ對シ感謝ノ情ヲ起サザルヲ得サルハ
 固ヨリ疑ヲ容レサル所ナリソレ此情ハ乃チ神ノ至廣至大
 ナルト神ニ對シ明カニ吾儕ノ至微至小ナルトヲ認ムルニ
 隨ヒ漸々增長スルニ至ルモノナリ
 吾儕何ヲ以テ此ノ感謝ノ情ヲ養フヲ得ベキヤ乃チ宜シク

心ヲ盡シ意ヲ盡シテ神ノ千恩萬惠ヲ認感スベシ又正善ノ
 源因ハ唯在天ノ神ヨリ出ツルモノト信服スベシ或ハ善ヲ
 行フテ樂シム毎ニ其ノ善ヲ尊ムベシ又此善ヲ視做シテ天
 ノ我ニ與フル所ノ仁惠仁愛ヲ証スルモノトスベシ而ソ常
 ニ喜悅快樂ノ心ヲ以テ彼ノ聖詠者ノ頌言ニ從ヒ心ニ神ヲ
 頌シ手ニ神ヲ戴イタダクベシ聖詠者ノ言ニ曰ク吾カ心惟神ヲ
 是レ頌シ其ノ聖名ヲ譽ホメ揚ク吾カ心神ヲ是レ頌美ソ常ニ
 其恩澤ヲ念フテ忘ル、ナシト詩三篇此ノ如クナレハ則チ感謝
 ノ情ヲ神前ニ養フト云フヘシ
 神ニ對スル眞ノ感謝トハ唯神ノ恩澤ヲ認感スルノミニ非

ラス必其恩ニ感シ之ヲ行爲ニ顯ハスヘキヲ云而シテ此感ヲ以テ心ヲ沸起シ以テ神ノ我ニ與ワル所ノ仁愛寛容ヲ深ク認感シテ其ノ感スルノ多キヲ顯ハスベシ但神ヨリ恩惠ヲ受ケ一人モ之ニ相應ズルノ報謝ヲナスモノナキハ固ヨリ論ヲ待タスト雖凡神ハ敢テ之カ報謝ヲ促サス唯其ノ恩ヲ重シ當然ニ之ヲ受用スルヲ以テ神ノ喜悅ノ献物トナルヲ得、今此世ノ施恩者ヲ見ルニ屢々人ニ惠ヲ施ノ之カ報謝ヲ促サス我等ノ惠ヲ受ケテ能ク之ヲ使用スルヲ快樂トナスノミ世ノ施恩者ニ於テ且然リ況ンヤ在天ノ施恩者ニ於テ豈然ラサランヤ是ノ故ニ我等必熱心誠意以テ感謝ヲ神ニ

奉^{タテマツル}上スベシ何ヲ以テ此ノ感謝ヲ神前ニ表^{アラハス}スヘキヤ他ナシ神ノ恩ヲ我等ニ賜ハルハ何ノ旨意ナルヤヲ察シ而シテ此ノ恩ヲ使用スルマサニ神旨ニ相應シ以テ天國ノ忠義者トナルヲ務ムヘシ然レモコレ聊サカ感謝ヲ神前ニ表スルノミ左ノ三ヶ條ヲ遂クルヲ以テ其真ニ表スルモノトナス

- 一 神ヨリ賜ハリタル才智才能ヲ完備發達シテ能ク聖教會及ヒ生國ノ裨益ヲナスベシ
- 二 神ヨリ賜ハリタル仁愛ニテ自己ノ行狀ヲ改修スヘシ使徒モ亦左ノ言ヲ以テ我等ニ誡メリ曰ク抑モ爾ハ神ノ鴻恩寛容恒忍ヲ藐視シテ上帝ノ仁愛爾ヲ悔改ニ導ヒクヲ知

三 若シ神ヨリ鴻恩ヲ受ケテ直チニ之ニ報謝スルノ術ナ
キトキハ更ニ我兄弟即チ貧究困苦スル神ノ諸子ニ報施スベ
シ神ニ於テハ固ヨリ毫モ自カラ用ウルコトナケレハ我等ノ
献納ヲ煩ハスノ意ナキヲ以テ同シク其報施ヲ悦ブナリ主
イエススハリストスノ訓誡ニ曰ク爾若シ施ヲ我カ兄弟至
微ノ一ニ行ハゞ即チ我ニ行フニ異ナラスト(馬太二十)此ヲ以
テ之ヲ觀レハ貧究困苦ノ者ニ救助スルハ是レ我カ誠意感
謝ヲ神前ニ証スルノ標柱ト云フベシ抑々神ニ報謝スルノ
心ハコレ天然自然ノモノニシテ人ノ當ニ無カルベカラザ

ルモノナリ是ノ故ニ人若シ鴻恩ヲ受ケテ之ニ報謝スルノ
心ナクンハ是レ之ヲ稱シテ大悪人トナスモ可ナリ夫ノ異
邦人ト雖モ之ヲ稱シテ罪惡ノ最トナス况ヤ我等基督徒ノ
名稱ヲ受ケタルモノハ宜シク戒心スベキニ非スヤ今聖書
ノ一例ヲ擧ケンニ主イエススハリストスノ癒シタル十人
ノ癩者アリシカ癩者ハ皆ハリストスニ依リテ癒ヤサレタ
リト雖モ其中一癩者ノミ獨能ク其恩ヲ願ミ神ニ感謝シ餘
ハ皆其^{ホシ}洪恩ヲ思ハス其快癒ヲ願ミズ遂ニ之ヲ忘ル、ニ至
レリ此一例ニテモ尙ホ我等ノ不感謝ヲ預戒スヘシ又世ニ
ハ往々生前ヨリ富貴尊位ニシテ甚幸福ヲウケ常ニ神ヨリ

賜ハル所ノ恩寵ヲ慣視シテ終ニ毫モ之ヲ顧ミザルニ至ル
 モノアリ如是キモノ、爲ニモ亦殊ニ此ノ預戒ヲ必要トナ
 ス
 吾人此世ヲ渡ルハ際シ種々萬狀ノ不幸ニ際會スルコトアリ
 聖書之ヲ訓解シテ神ノ寛容仁愛ノ致ス所トナス(エウレイ
 十二ハ六)
 故ニ吾人神ヨリ賜ハルモノ何ノ事物ニ論ナク悉ク感謝ノ
 心ヲ以テ之ヲ使用スベシ聖書ノ訓誡ニ曰ク凡ソ事皆宜シ
 シ感謝スベシ如何トナレハ爾ニ及フモノハ皆神ノ旨ニシ
 テ主イエススハリストスニ由ルモノナリト(フエサロニカ前
 畫五ノ十八)
 神ニ依頼スルコト

夫レ何所ニ限ラス上天ノ右手ヲ認視シソノ無涯ノ鴻恩ヲ
 認感シ常ニ心ヲ安ンシテ唯神ヨリ善事ヲ賜ハルコト待チ
 而シ毫モ未來ノコトヲ煩慮スルコトナキヲ所謂ル神ニ依賴ス
 ル、モ、ハ、ト、ハ、謂、ナ、リ、此、ノ、如、キ、モ、ノ、常、ニ、深、ク、信、服、シ、テ、必、曰、ン
 若シ神ノ管下ニ在リテ能ク其ノ指令ニ循ハシ敵人如何ナ
 ル惡謀ヲ懷キ我心ヲ洞知セント欲ス下モ斷ン能ハサルベ
 シトユヘニ今世ニ在リテ唯恬然慰樂ヲウケ(詩九篇四)精神快
 ントノ事業ニ就キ常ニ神ノ援助ヲ蒙ムル故ニ陰翳ニ遊行
 スルモ驚カズ(詩篇二十)危急存亡ノ秋ニ際スルモ敢テ失魂
 チカラヲオトス
 セス唯一心熱信ノ祈禱ヲ以テ專ラ心ヲ神救助者ニ傾ムケ

何所、何時、ヲ論セス神ヨリ善事ヲ賜ハラン_トヲ願ヒ且聖詠
 ナ吟歌スルノ聲絶ユル_トナシ聖詠者ノ言ニ曰ク我靈ヤ爾、
 胡爲_ズ我衷ニ懷憂疑慮スルヤ實ニ心中安セズ(我レ當サニ
 我神我救主ヲ頌讚セン)將ニ我カ上帝ヲ仰キ望ニ必眷祐ヲ
 得テ之ヲ頌美セントスト(詩篇四十二)
 斯、ル精神ノ氣力ヲ起サンニハ必先ツ深ク至仁全智全能
 者ノ世界ヲ統轄スル所以ヲ信服スベシ即至仁者ハ以テ吾
 人ノ幸福ヲ得ルヲ望ニ全智者ハ以テ吾人ノ幸福ヲ得ルハ
 何ニヨル乎ヲ知り全能者ハ以テ吾人ニ幸福ヲ賜ハル_トヲ
 能クスト信服スヘシ抑モ我等ハリスティアノンハ全能、全智

者ニ依リテ將サニ仁恵ヲ賜ハラントスル確然不拔ノ証ヲ
 有スルモノナレハ其ノ神ニ依頼スルキハ何事カ成ラサラ
 ン聖使徒ノ曰ク神已ノ子ヲ惜マズシテ我等衆庶ノ爲メニ
 之ヲ捨ツ豈萬物ヲ以テ之ト借ニ我等ニ賜恩セザランヤト
 (ロマ書二
 三十二)

聖書神ニ依頼スル_トヲ我等ニ明言シテ曰ク爾衆ヤ神ヲ頼
 ンテ以テ善ヲ行ヘヨト(詩篇三)
 又曰ク爾人民ヤ常ニ神ヲ頼
 ミ神前ニ在リテ己カ心慮ヲ吐露セヨ蓋神ハ誠ニ恃ムヘキ
 モノナレハナリト(詩篇六十)
 又曰ク神ヲ恐ル、モノヤ爾宜
 シク神ヲ信ズベシ神ハ爾ヲ護ラン爾已ノ道ヲ治理セヨ而

神ヲ仰望シ神ノ仁慈ヲ待ツベシ且彼レニ違フコト勿レ蓋
 己レ地獄ニ墮テザルカ爲ナリ爾能ク古ノ人ヲ視ヨ且能ク之
 ニ注意スベシ誰カ能ク神ヲ信シテ以テ凌辱ヲ受ケタルモ
 ノアルヤ誰カ能ク神ヲ恐レテ神ニ捨テラレタルモノアル
 ヤ又誰カ神ヲ籲ビテ之ニ救ハレサルモノアルヤトシラフ
十二ヨリ是レ聖書我等ニ訓フル一証ナリ其ノ二証ハ則聖書我
 等ニ教フルニ神ハ慈愛者或ハ吾人仰望スル所ノ全能ナル
 保護者若クハ救助者ト稱セリ唯之ノミナラズ多ク我等ニ
 顯示スルニ神ノ我等ヲ眷顧スルノ例ヲ以テス
 人若シ專ラ其才智才能富貴ニ依頼シ又衆庶ニ依頼スルコト

アレハ是レ眞ニ神ニ依頼スルニ非ラズ蓋シ此ト彼トハ兩
 立スベカラサルモノナリ聖書ニ曰ク爾一心、神ヲ頼ミ而シテ
 己ノ才智才能ヲ恃ム勿レト箴言三又曰ク宜シク世ノ富者
 ニ論スベシ心傲ル勿レ無定ノ財ヲ頼ム勿レ唯諸物ヲ我等
 ニ洪賜シ並ニ快樂ヲ我等ニ與フル所ノ活神ヲ恃ムベシト
テモヘイ前書六ノ十七又詩篇ニ曰ク世人牧伯ヲ恃ムベカラス蓋彼ニ
 眞ノ救助ナシ其氣既ニ絶テハ則土ニ歸シ有謀モ亦皆即日
 ニ消亡スベシ凡ソ神ヲ頼ンテ其ノ眷祐ヲ蒙ムルモノハ幸
 福ヲ得ルヤ尤モ多カルヘシト詩篇百四十然ルニ神ニ依頼
 スルコトニ至リテハ必至當ニシテ能ク理ニ合ハサルベカラ

ス蓋我等諸善ヲ求ムルニ神ヨリ才力方法ヲ賜ハリタレハ
 神ニ諸善ヲ請フキハ先ツ此才力方法ヲ盡シテ後之ヲ請フ
 ヘシ故ニ己ノ才力ヲ恃ミ或ハ他人ノ才力ヲ借リテ得ベキ
 モノヲハ徒ニ神力ヲ恃ミ其奇蹟ヲ以テ賜ハルヲ決シ願
 フベカラズ否ラサレハ是レ全ク神ノ才力方法ヲ賜ハリシ
 聖旨ニ違反スト謂フヘシ

己ヲ神ニ委托スル

夫レ己ヲ神ニ委托シ或ハ神ヲ思ヒ恬靜ニシ心ヲ安慰スル
 ハ至上幸福ナル精神ナリト云ヘシ是ニヨリテ信者ハ如何
 ナル幸不幸ニ遇フモ之ヲ意トスルナシ蓋忠誠不抜ノ信認

アレバナリ信認トハ即チ千種萬類ノ此世ニ在ルハ咸チ神意
 ニシテ此ノ神意ナクンバ頭髮ノ一モ落ツルヲナキチ認メ
 (ルカ二十八)且吾人ヲ引導スルノ正路ハ幽深ニシテ悟識ス可
 カラズト雖モ我等信者ニ至リテハ皆之ヲ聖且仁ナリト信

認スルヲ云ナリ斯ク己ヲ神ニ委托シタルノ例チ今聖母マ
 リヤニ因リテ之ヲ觀ン嘗テ天使アルハンゲル神ノ福音ヲ
 奉シテ處女マリヤニ臨ミ之ニ其福音ヲ述ヘテ曰ク爾將サ
 ニ救世主ヲ生マントスト此事ハ天使ノ卓才ヲ以テスト雖
 モ幽奥ニシテ悟識スルヲ能ハサリシガ此處女マリヤハ己
 チ神ニ委托スルノ深厚ナルカ故之ニ答フルニ左ノ言ヲ以

テゼリ曰ク神ノ婢願クハ此ニ有リ爾ハ言ハ如ク應セシ
 ナト又聖イテウチ以テ觀ソイテウ嘗テ無涯ノ艱難ヲ負ヒ
 シキ俯伏シ神ニ感謝シテ曰ク神先ニ我ニ賜ヒ後又之ヲ取
 ル將タ何ノ怨ミカ之レアラン蓋是レ亦全ク神ノ好ム所ナレ
 バナリ故ニ神ノ名ハ當サニ永ク頌讚セラレヘシト
 一十 殊ニ又元祖アウラアムノ己ノ獨一子イサクヲ神命ニ從
 フテ獻祭セシトキ其ノ憂愁實ニ想ヒヤラルベシ然レモア
 ウラアム其ノ命ニ負カザル所以ノモノハ蓋忠誠不拔ノ信
 認アレハナリ
 此ヲ以テ之ヲ視レハ已テ神ニ委託ストハ或ハソノ無感無

覺テ云カ如シト雖モ全ク然ルニ非ラズ視ヨ神ノ我等ニ責
 ムル所或ハ我等ニ命スル所皆我等ノ力量ニ越ユ天性ニ合
 ハサルモノニ非ラス而モ天性ニ合ヒ力量ニ相當シタル
 ナ爲スナ如何ソ無感無覺ト稱スルヲ得ンヤ夫レ不幸ノ
 我等ヲ痛哀セシムルハ自然ノ然ラシムル所ニシテ此ヲ除
 カントスルヲ望ムモ亦自然ノ然ラシムル所ナリ故ニ信者
 ハ我身ニ及フノ不幸ヲ忌惡シ其痛哀ニ沈伏スルヲ許サズ
 故ニ必此ノ痛哀不幸ヲ鎮靜消去スルノ術ヲ尽ササルベカ
 ラス今其ノ一例ヲ舉ケン我等ノ中保者イイススハリスト
 スハ世ニ在リテ方サニ苦死ニ瀕セシキ憂愁哀慟天父ノ前

ニ俯伏シテ祈リテ曰ク我カ父ヤ若シ免ルヲ得ハ此ハ杯ヲ我ヨリ去ラシメヨト是レ己ニ及フ所ノ痛哀ヲ消去スル所以ナリ今コレヲ措キテハリストスノ己ヲ神ニ委托スルノ猶ホ限リナキ例ヲ視ン主イエイススハリストスノ曰ク我レ敢テ之ヲ欲スルニ非ラズ唯爾ハ命之レ循ハント此語ハ則前ノ祈禱ノ結局ヲナスモノナリ今此ノハリストスノ例ヲ以テ視ルコ己ヲ神ニ委托スルハ不幸痛哀ノ無感無覺ニアラスシテ忠誠不拔ノ信認ニ應スルノ行狀タルヲ明ナリ即神意ノ我ニ便ナラズ且幽妙ニシテ悟識スベカラザルハ是レ神ノ我ニ善ト仁トヲ與フルナリト信認スルナリ故ニ

己ヲ神ニ委托ストハ即己カ師タリ主タルノ神例ニ倣ヒ若シ我身ニ諸害ヲ生シ或ハ痛哀ノキハ神前ニ祈禱ヲ献シテ曰ク天ニ在マス我等ハ父ヤ願クハ爾ハ旨行ハルベシト而シテ如何ナル幸不幸ニ際スルモ之ヲ以テ人ノ永久ノ路ニ入り行狀ノ完備ニ至ル必要ノモノトナシ且神ニ鍾愛セラルハモノモ世ヲ渡ルニ至極ノ不幸災害ニ會フコアルヲ知リ常ニ我精神ヲ成ルベク安然ニシテ忍耐ヲ以テ之ヲ過ゴスヲ云フナリ

（エウレイ三十一ノ三十一）
六〇三十七三十八

主イエイススハリストス己ノ例ト教訓トヲ以テ神ニ委托スルコト我等ニ明シテ曰ク爾試ニ天空ノ鳥ヲ觀ヨ彼レ稼セス

穡セズ倉ニ積マス然ルニ天父之ヲ養フ爾將タ鳥ヨリ貴カ
 ラズヤ試ニ野ニ在ル百合花ヲ見ユ如何シテ長スルヤ彼レ
 勞セズ紡セズタゞ我爾ニ語クソロモン榮華ノ極ト雖モ猶
 此花ノ一ニ及バズ且ソレ今日尙存シ明日爐ニ投セラレ
 ノ野草モ神猶之ヲ衣被スル此ノ如シ况ヤ爾小信ナル者チ
 ヤ故ニ何ヲ以テ衣何ヲ以テ飲ニ何ヲ以テ食スルチ慮ル勿
 レ蓋天父ハ爾ノ需ムルモノ委ク之ヲ知ルト（馬太六ノ二十一）使
 徒ペートルモ亦我等ニ教訓シテ曰ク爾凡ソ憂慮スル所神
 ニ委托スベシ蓋神常ニ爾ヲ思念スト（ペートル後書五ノ七）今ヤ業己
 ニハリストスノ例ト教訓トチ以テ神ニ委托スルヲチ吩咐

セラシモ信者ニ於テ亦方サニ之ヲ理解スルノ不正ヨリ妄
 行チ用ウルヲ戒心セサルヘカラス妄想妄行トハ即万事
 世ニ在ルモノ皆天父ノ然ラシムル所ナレバ如何ニシテモ
 遁ルベカラザル運命ナリト專ラ之ニ伏シテ毫モ災害困苦
 チ遠クルノ仕方チ用ヰザルヲ云フナリ斯カ、ル妄想ノ由
 リテ生スル所以ハ全ク神意チ解スルノ不正ト萬物ノ自ラ
 天地ノ法則ニ循ヒテ開進スルチ解セサルヨリ出ルモノニ
 シテ實ニ^{映過}過チ人ニ加フルモノト云フベシ今斯、ル妄想
 チ懐クモノ、如何チ視ルニ天然ノ物理チ究^{キル}鑿スルチナサ
 ズシテ常ニ無學文盲ニ安ンシ又危急存亡ノ秋ト雖、少シク

モ意ニ介スルヲナク已レ其害ヲ負ヒ遂ニ又之ヲ他人ニ及ボ
スニ至ル是故ニ信者ノ理ヲ辨シ務ニ應シ行ニ自由ナルヲ
及ヒ神子タルノユヘチ以テ異邦人ニ異ナル所ノモノハ終
ニ反覆シテ不當ノモノトナルニ至ル豈慎マザルヘケンヤ
形体ヲ以テ神ヲ恭敬スルヲ

夫レ人ハ靈ト体トヲ以テ成ルモノナレバ其ノ靈心ノ恭敬
ハ必形体ノ恭敬ト相結合セカルヘカラズ形体ノ恭敬トハ
即或ハ言語或ハ行狀或ハ儀式ヨリ成ルモノナリ而シテ靈心
ノ恭敬トハ此ノ言語、行狀、儀式ニ於テ形ハルルモノニシテ
此ノ言語、行狀、儀式モ亦靈心ノ恭敬ノ將サニ形ハレントス

ルヲ扶クルモノナリ其ノ故左ノ如シ「一」虔敬ノ感覺ナルモ
ノハ靈ト形トノ親密接合ニヨリ他ノ種々活潑剛強ノ感覺
ノ如ク必外体ニ形ハレザルヲ得ス主イエスス之ヲ証シテ
曰ク心ニアルモノハ必之ヲ口ニ出スト（路加六ノ四十五）「二」万物
造ヲ享クルノ形像悉ク已レニ適應セシヲ以テ常ニ造物主
ヲ讚榮シテ止マス我等モ亦靈ト形ト共ニ備具セラレタル
ヲ以テ必靈ヲ以テハ神ヲ敬愛シ神ヲ仁愛シ神ノ仁愛ニテ
飾ラレタル此形体ヲ以テハ必神ヲ讚榮セズンハアルヘカ
ラズ使徒ノ曰ク爾ノ体ト爾ノ靈トヲ以テ神ヲ讚榮スベシ
ト（コリント前二三）我等毎ニ世ニ生活シテ世事ヲ營ムノ聖業

聖儀式ヲ要ズヘシ此ノ聖業聖儀式ハ我等ノ内沁ニ虔敬思慮感覺ヲ發生セシメ且之ヲ守リ増加スルモノナリ「四」夫レ形体恭敬ノ必要首大タル所以ハ主イエイススハリストス我等ニ賜恩センカ爲メ此ノ聖教會ニ秘密ノ聖務ヲ設立セシキ以テ見ルベシ

然ルニ未タ神ヲ恭敬スルノ眞意ヲ解セザルモノハ唯外現ノ恭敬ノミチ足レリトシテ内沁ノ恭敬ヲバ捨テ、毫モ重ズルコトナシ又邪思ニ迷溺シテ心情ニ至當ノ注意ヲ加ヘザルモノハ獨、内沁ノ恭敬ヲノミ重シ外現ノ恭敬ヲハ措キテ餘分ノモノトナス或ハ意ヘラク外敬ヲ要スルモノ唯深ク

己ヲ省ミル能ハズシテ常ニ目觸感覺ニ依リテ引導セラレ、凡人ノミナリト是レ豈過タズヤ試ニ見ヨ人ハコレ萬世不滅ノモノニシテ終始人位ヲ失フコトナシ故ニ人ノ知識善行ノ開發ハ如何ナル高上ニ及ブモ靈ト形トノ親密即チ内沁恭敬ノ形体ニ形ハル、所以ノモノハ永久消滅セサルヘシ

今主イエイススハリストスニヨリテ其ノ不滅ノ証ヲ見ン主曾テ至妙至高ノ靈物トナリ己ノ祈禱感覺ヲ神前ニ形ハスニ方タリ或ハ言語或ハ肉体ノ作動ヲ要セリ譬ヘハ目ヲ揚ケテ天ヲ仰キ膝ヲ屈シテ地ニ俯シ而シテ祈禱ヲ天父ニ献スルカ如キ是レ其形体恭敬ノ緊要首大タルヲ見ルヘシ

形体恭敬ノ種類

凡ソ神ニ於ルノ虔敬感覺ノ或ハ言語或ハ行狀ニ形ハルモ
ノチハ之ヲ稱シテ祈禱ト云フ祈禱ニ三種アリ即祈禱或ハ
願求、感謝、讚榮、コレナリ是ノ三者ハ皆形体ヲ以テ神ニ奉事
スルノ禮ニシテ概シテ之ヲ祈禱ト云

祈禱ノ一

夫レ祈禱トハ吾人常ニ神前ニ奉事スル所ノ虔敬ノ言語ヲ
云ナリ此祈禱ヲ以テ悉ク吾人ノ願望スル所ヲ神前ニ顯ハ
シ且以テ靈形ノ幸福ヲ願フナリ
扱テ吾人未タ望ム所求ムル所ヲ神前ニ顯ハサズト雖神ハ

悉ク之ヲ洞知セズト云フナシ然ラバ則我等之ヲ特ニ默
シテ神ニ願ハザルベキカ斷ン此理ナシ我等ハ必子ノ親ニ
於ケルカ如ク天父ノ前ニ在リテモ亦悉ク我カ望ム所求ム
ル所ヲ吐露スヘシ而シテ哀痛憂愁ノ作ニハ神ヲ籲ンテ之ニ
慰藉、扶助ヲ願フベシ今一言以テ之ヲ言ヘハ則祈禱ヲ神ニ
献ズル、是ナリ又祈禱ヲ神ニ献スベキ所以ヲ舉テ之ヲ証セ
ン主イエススハリストス曾テ我等ニ訓誡シテ曰ク爾神ニ
願ヘバ、必賜ハラン、祈禱ヲナセバ、必誘惑ニ陷イザラント是
ノ誠命ハ即主自身ヲ以テ確証セシ例ニシテ是レ其ノ一証ナ
リ夫レ祈禱ハ我等ニ恩恵ヲ得セシムルモノ故若シ我等熱

心ノ祈禱ヲ神ニ獻ゼバ必此ノ肉体ニ繁縷セラル、靈魂ハ
 遂ニ世俗ノ情慾嗜慾ヲ脱シテ神父ニ近ツキ昇リ而シテ神ノ
 賜恩ヲ受ルニ堪フルモノトナラン且世ノ諸誘惑ヲ脱シテ
 照明ナルモノトナリ恰モ赤子ノ母懷ニ在リテ安堵スルカ
 如ク我等モ亦神父ノ所ニ在リテ安堵快樂ヲ得ベシ先知モ
 イセイハ已チ神ノ教訓ヲ享ルニ堪フルモノトナセシハ祈
 禱ノ力ニ由ル預言者ダニイルカナウホドノソルノ夢ヲ解
 クノ能チ神ニ求メ得タルモ亦祈禱ノ力ニ由ル主イエイス
 ハリストスノ祈禱ヲナスヤ其面恰モ燦然タル日輪ノ如ク
 ナリシモ亦然リ使徒パウエル及ビシラノ獄ニ在リテ祈禱ヲ

ナスニ當リ其ノ牢戸自カラ開キテ彼等ヲ縛シタルシツコク桎梏シツコクハ
 遂ニ其體ヨリ脱落シタリ是皆祈禱ノ力ニ由ルモノナリ斯
 シ古聖人等ハ皆祈禱ヲ頼ンテ安堵勢力ヲ得祈禱ヲ頼ンテ
 美行美功ヲ爲シ終ニ以テ我カ一身ヲモ獻物トナスニ至リ
 タリ故ニ信者タル者ハ全家共ニ祈禱ヲ廢スベカラズ苟モ
 如此ナレハ各其ノ職分ヲ遂ルコトモ愈々熱心誠精ニナリテ
 全家和合成立スルニ至ラン蓋祈禱ヲ廢スルキハ全家擧テ
 勞苦スルノ望ヲ絶チ且一家ノ秩序ヲミダス紊乱スルニ至ルコト
 レバナリ
 虔敬ナル聖哲ノ曰ク我等若シ靈ト形トヲ以テ神ニ熱切ノ

祈禱ヲ献セバモイセイノシナイ山ニ在リテ神ヨリ十誠ノ
 石板ヲ受ケタルカ如ク我等モ亦神ヨリ十誠ノ石板ヲ受ケ
 ン而シ又モイセイノ此ノ石板ヲ携ヘ山ヨリ下リシ如ク我
 等モ此ノ訓誡ノ石板ヲ心中ニ藏メテ以テ善心ニ立テ反リ
 而シ常ニ此ノ訓誡ニ應ズルノ行ヒヲ顯ハスニ至ラント是
 ノ故ニ若シ誰カ此ノ如ク始終祈禱ニ出精スルナラハ之ヲ
 稱シテ祈禱ニ熱切ナルノ行ト云フモ亦不可ナキナリ嗚呼
 モシ此ノ如クナレハ其ノ人ノ幸福甚大ナリト云可シ
 我等如何ナル術ヲ尽シ以テ常ニ祈禱ノ神前ニ喜バルルヲ
 ナスベキヤ又祈禱ヲ以テ我身ニ仁惠ヲ得シハ何ノ術ヲ

盡スベキヤ或ハ美言ヲ要スルカ將タ辨舌ヲ要スルカ是レ
 決シ然ラス唯祈禱スルキニ當リ毎ニ毫モ言語ニ滯^ヒ滞^ススル
 ナク誠意以テ自己ニ相應スルノ希望ヲ神前ニ顯ハスヲ肝
 要トスベシ又祈禱ノ最モ重ズル所ハ是レ何時モ我等ノ祈
 リハ天主經ノ意ト異ナルナキコアリ抑モ天主經ナルモノ
 ハ信者ノ諸祈禱ノ著^シ鑑^ニニシテ其ノ我等ニ訓誡スル左ノ如
 シ
 第一 我等神ニ近カ寄ル^ト猶子ノ父ニ近カ寄ルカ如ク宜
 シク子タルノ愛心ヲ尽シ正心ヲ盡シテ祈禱スベシ且神ノ
 恩ヲ得ントスルノ望ヲ以テ毫モ疑念ヲ挿ム^トナク篤ク神

ノ全能ヲ信認シ而シ衆ト相和シ相親ニ恐怖ノ心ナクシテ
 祈禱セズンハアルヘカラズ
 第二 祈禱ヲナスニ方リテ必先ツ神ノ威嚴ノ赫々トシテ
 一步モ近カ寄ルベカラサルヲ念ヒ且我等之ニ對シテ其ノ
 微小ナルヲ思フテ後熱心ノ祈禱ヲ獻スベシ
 第三 神ニ請フ所ノ幸福ハ必天國ノ幸或ハ靈魂ノ幸ニシ
 テ我等ノ最要タル幸福ニアラズンハ請フベカラズ肉体ノ
 幸福ニ至リテハ唯其生命ヲ保護スルノヲノミヨシテ必過
 分ニ求ムベカラズ蓋肉体ノ幸福我等ニ多ケレハ從テ其ノ
 害ヲナスヲ又多ク若シ此ノ幸福足ラサレバ從テ其ノ益ヲ

ナスヲモ亦多シ

第四 我等何物ニ限ラズ自己ノ爲メニ請フヘキモノハ何
 ノ敵ヲ論スルナク衆人ノ爲メニモ之ヲ請フベシ

第五 我等神ニ請求シテ其ノ成ルヤ否ヤハ必神ノ旨ニ
 從フヘシ何トナレハ神ノ旨若シ天ニ行ハルハ如ク地ニ行
 ハセタマヘハ其ノ幸福ノ大ナルヤ我等ノ能ク知ル所ナリ
 聖教會ハ天主經ノ外ニモ諸祈禱文ヲ作爲シ教會ノ子タル
 信者ヲシテ祈禱ニ習練セシム故ニ善且孝ナル子ハ母タル
 教會ノ垂念ノ辱ケナキヲ感シ而シ其作爲スル所祈禱ヲ以
 テ必己ヲ利セスンバアルベカラズ

夫レ熱心ノ祈禱ハ常ニソノ進歩ヲ來サザルハナシ時トノ
 或ハ熱心ノ祈ヲ以テ己カ望ミテ神前ニ露ハスモ絶エテ其
 ノ望ノ成ラサルコアルモ是レ全ク其祈ノ純全ナラザルト
 至當ナラサルカ故ナリ縱令我カ志望ハ至ウセサルモ必ヤ
 神ノ志望ノ如クナルヘシ神旨ハ是レ我等ノ心旨ニ勝ル萬
 々ニシテ其ノ我等ノ旨ヨリ善良ナルヤ知ルヘキコナレハ
 我等限りナク己テ此ノ神旨ニ委スヘキモノナリ故ニ若シ
 致命者ノ如キ熱心ノ祈禱ヲ以テシテ己ノ辛苦ヲ免ルヲ得
 ザルコアルモ更ラニ又勇氣安意ヲ以テ此ノ辛苦ヲ忍耐ス
 ルノ強力氣勢ヲ得ヘシ今其ノ証ヲ舉ンニ我等ノ贖罪主即テ

神タル致命者イイススハリストスハ其熱切ノ祈禱ヲ以テ
 神、父ニ死苦ヲ免ヌカレシコトヲ陳ベタリト雖厄此死苦ノ杯
 ハ彼ヲ離レスシテ終ニ之ヲ飲ムニ至レリ然リト雖厄彼ノ
 祈禱ヤ空シカラスシテ聖父ニ聽キ容レラレリ
 (エウレイ) 五ノ七何
 ントナレハ彼ノ致命者イイススハリストスノ將サニ死セ
 ントスルヤ主神ハ天使ヲ遣ハシテ之ニ勢力ヲ加ヘ此苦ヲ
 懼レザラシメタリ是ヲ以テ其ノ身ニ迫リタル死苦ノ懼ハ
 果シテ消滅スルニ至レリ是レ所謂ル神彼ノ祈禱ヲ聽キ入レ
 タルノ証ナリ
 平常我等ノ最モ肝要トスル所ノ祈禱ハ則テ天ヲ仰キ手ヲ

揚ケ膝ヲ屈スル等ニシテ十字架ヲ畫スルモ亦之ニ加ハ
 レリ此十字架ヲ畫スル時ニ當リ我等必、幾度トナク虔敬ノ
 感情ヲ以テ種々ノ状態ヲナスベシ蓋内心ニ祈禱ノ情アレ
 ハ此ノ情ハ自然ニ外体ニ形ハレザルヲ得サルヲ固ヨリ我
 等ノ見認スベキ所ニシテ其ノ膝ヲ屈シ地ニ俯伏スルカ如
 キ外体ノ儼ナル形貌モ自然ニソノ祈禱ノ大力及ビ活潑ノ
 情アルヲ知ラシムルモノナリ抑、十字架ヲ畫スルノ始源ヲ
 尋ヌルニ是レ聖教會ノ初メニ在リ而シテ其ノ趣意タルヤ乃、代
 求者イイススハリストスノ我等ニ代リテ主神ニ請求セラ
 ル、ヲ望テ祈禱ヲ獻スルナリ蓋此、代求者ハ我等ノ贖罪ノ

十
 形、体、恭、敬、ヲ、分、チ
 テ、祈、禱、ス、ル、時、ニ
 可、キ、時、ナ、レ、ル、感、

爲ニ十字架ニ釘セラレテ我等ニ訓誡スル左ノ如シ曰ク
 祈禱ヲナスニ必ハリストスノ名ニ托シハリストスヲ信シ
 テ以テ之ヲナスニ非ザレバ不可ナリト(イ、チ、ア、ン、二、十、三、二、十、六、ノ、)夫
 レ祈禱ノ時ニ若シ眼目ノ觸ル、所皆聖物ナレバ以テ祈禱
 ノ情ヲ起ス、殊ニ大ナルモノ故、正教會、我等ニ訓誡スルニ
 祈禱ノ時ハ必聖像ノ前ニ在リテナサ、ルベカラサルヲ以
 テス

神ヲ讚榮スルヲ

夫レ此ノ讚榮ノ由リテ出ツル所ハ是レ驚愕ニ在リ驚愕ハ
 我等神ノ大ナル完全ヲ識認シ且神ノ莊麗ナル妙工或ハ造

謝ハ其外現ニ於
テモ所爲ト異
ナレク己ニ於テ
解ニ於テ
明セラレタリ

物或ハ照管或ハ人間ノ贖罪ノコトヲ沈思スレバ從テ之ヲ發
生スルニ至ルツノ至上至尊ノ神ニ至リテハ何ソ我等ノ讚
榮ヲ要センヤ縱令美頌タリト神ノ麗嚴ナル光榮ニ比スレ
ハ其賤シキコト童兒ノ^神言ニ異ナラザルベシ然リト雖凡我
等必神ヲ讚榮スベキコト三アリ今之ヲ左ニ記載セン
第一 神ハ我等ノ最モ讚榮スベキモノナレバナリ又讚榮
ハ神ノ大ナル完全ヲ識認シ及其威徳ト莊麗ノ妙工ヲ沈思
スルヨリ發生スル所ノ真情ナレバナリ抑モ誰カ神ノ奧妙
ニシテ人ノ悟識スル能ハサルヲ思ハサランヤ誰カ神ノ視
サル所ナキ知ラサル所ナキ云フヘカラサルノ寛仁言フベ

カラサルノ信賞必罰及ヒ其至聖ナルコトヲ思ハサランヤ或
ハ神ノ奧妙全知全能寛仁^義判及ヒ其聖ナルヲ感セザラン
ヤ誰カ神ノ視ザル所ナキヲ深ク思ヒ而シテ此感ノ滿溢ヨリ
聖詠者ノ如ク歎頌セサランヤ聖詠者ノ曰ク嗚呼、奇ナル哉、
神ハ眼カヤ、我レ之ヲ解スル能ハズト誰カ己ノ視覺ヲ神ニ
威徳ト其莊麗ナル造物ノ妙工ニ向ケサランヤ地ニ在リテ
ハ造物皆我等ヲシテ神ヲ讚美セシム天地皆照然トシテ神
ノ光榮ヲ顯ハス地ニ在ル所ノ如何ナル輕微ノ昆蟲ト雖凡
神ノ大能大力大榮ヲ顯ハサザルハナシ況ヤ天ニ在リテ無
量ノ廣所ヲ廻轉スル所ノ大ナル太陽ニ於テテヤ之ヲ略言

スレバ地ニ在ル萬物ハ皆神ノ威德、莊麗、光榮ヲ包含スル聖堂ノ如シ誰カ此ノ聖堂ニ在リテ目ニ之ヲ視覺シ清心潔意以テ神ヲ讚榮セサランヤ誰カ斯ル妙工ノ中ニ在リテ聖詠者ノ如ク震慄驚愕シテ歎息セザランヤ聖詠者ノ曰ク神ヤ、爾、ノ、工、ハ、實、ニ、奧、妙、ナ、リ、ト又天ノ人ヲ引導スルノ道ハ神密ニシテ其ノ是非ヲ辨スル能ハサルヤ屢次ナリト雖其道ハ全ク皆善道ニシテ神此道ニ依リテ人ノ自由ヲ妨クルナク人ノ大主眼トスル所ニ至ラシメ又罪人ノ將サニ深淵ニ臨ミ亡ビントスルヲ見テ屢々之ヲ救ヒシコアリト深ク思念シ殊ニ又神ノ已ノ獨一子ヲ以テ成セシ所ノ贖罪ノ大功

ヲ深ク識認セハ誰カ使徒ノ如ク呻吟歎ノ聲ヲ發セサランヤ使徒ノ曰ク奧ナル哉神ノ富ト智ト識トノ深キヲ測ルベカラズト(ロマ書三十一)

第二 讚榮ハ其靈魂ニ潔淨ノ慰樂ヲ起サシムルモノナレバナリ聖詠者ノ曰ク爾等ノ我上帝ヲ謳歌頌讚スルハコレ美ヲ盡シ善ヲ盡スヲナスナリト(詩篇百四)且又吾儕ノ讚榮スベキ所以ハ蓋讚榮ナルモノハ吾儕ヲシテ善ニ移リ正ニ化セシムルモノナレハナリ其故ハ即吾儕神ノ大ナル完全ヲ讚榮スルハ從テ神前ニ謙遜虔敬ヲ養長スルニ至リ又其心或ハ真或ハ聖或ハ神事ニ傾向スルニ至ルモノナリ或ハ神

ノ全能全知及ヒ其寛仁ヲ讚榮スレハ我等復テ神ヲ愛シ神ニ
 依頼スルノ心ヲ養長スルニ至ルモノナリ
 第三 聖書ニ數々神ヲ讚榮スルヲ我等ニ警誡スレハナ
 ヲ其一ニ曰ク爾宜シク神ヲ頌讚スベシト(詩篇一百一十七)又曰ク神
 ハ善ナラザルナシ故ニ爾之ヲ頌讚スヘシ或ハ彼ノ名ヲ謳
 歌スベシト(同五之三十三)又曰ク爾一心一口ニシテ宜シク榮テ
 神ニ歸スベシト(羅馬書十五)其二ハ聖人聖天使等ハ多ク神ヲ
 讚榮スルノ例ヲ我等ニ現ハセバナリ(路加二ノ十四)劑サヘイイス
 スハ例トス自ラ斯、ル例ヲ我等ニ現ハセリ(路加十一ノ十二)
 ニ由リテ聖教會ハ常ニ聖歌ヲ以テ神ヲ讚榮祈禱シテ曰ク

形體ノ
 體ノ
 形ノ
 體ノ
 體ノ
 體ノ
 體ノ
 體ノ
 體ノ
 體ノ

神、我、等、ニ、一、心、一、口、ニ、シ、テ、至、尊、至、榮、ナル、神、父、神、子、神、聖、神、
 ハ、名、ヲ、讚、榮、謳、歌、ス、ル、ヲ、賜、ヘ、ト

神ヲ信仰スル

形体ノ恭敬ニ基ツクモ、メ、タ、三、ア、リ、一、ハ、神、ヲ、信、仰、ス、ル、ト
 二、ハ、誓、約、ノ、カ、キ、此、誓、約、ハ、唯、信、者、ノ、尤、モ、重、キ、ト、ニ、ノ、ミ
 要スルモノナリ
 夫レ神ヲ信仰スルハ信者ノ最モ要務トスル所ノ一ニシテ此
 ナ以テ我等ノ神ヲ信シ神ノ奧妙ニ感スルヲ証スル左ノ
 如シ我等若シ神ヲ信仰スルヲ篤ケレハ假令窘途或ハ危殆
 ニ際スルヲアルモ必神ノ名ヲ以テ之ヲ忍耐スルニ至ラン

語ヲ以テセリ
 信者云ク原語ニ
 ウエダニイスト
 云ヒテ背教者ノ
 之ニ勝テ忍耐シ且
 ノ亦「エスホウ」
 トニク「ト」云フ

而ノ此信仰ヲ我等ニ強ク起サシムルモノニアリイイス
 ハリストス會テ自ラ其門徒ヲ誠メテ曰ク凡ソ我ヲ人前ニ
 認ムルモノ我モ亦之ヲ我カ天父ノ前ニ認ムト
 人ハリストスノ此言ニ由リテ必信仰ヲ起サバ
 レ其一ナリ其二ハ即諸使徒諸致命者ノ例是ナリ彼等ハ如
 何ナル酷虐嚴責ニ會フト雖而神ヲ信仰セシト何ノ障
 碍ヲ來スヲナク已ノ血ヲ流シテ以テ聖教ノ益々延蔓堅固ナ
 ルヲ致セリ此ノ例ニヨリテモ我等必ス信仰ヲ起サバ
 得ス其三ハ即我等信仰スル所ノ宗教ニ於ケル虔敬ノ愛
 モ亦此ノ信仰ヲ我等ニ起サシム此愛ハ即殊ニ不幸ノ者ニ

馬太三十
 十二、十三

現ハルモノナリ蓋シ人不幸アレハ其心必、宗教ニ依頼スル
 ハコレ自然ノ然ラシムル所ナレハナリ

然ルニ此信仰ハ縱令熱心ナルモ必知覺聰明アリテ之ヲ治
 理スルコアラサレハ却テ益ナキモノナリ例ヘバ若シ誰カ
 信仰ニ就テ別ニ責迫窘逐ナカリシモ自カラ其災害ヲ招キ
 テ死スルニ至ラバ是レ宗教ニ對シテ何ノ延蔓堅固ヲナス
 アル乎反テ宗教ノ害ヲナスモノナリ是故ニ信者ハ若シ此
 宗教ニ對スルノ務ヲ犯スナクンバ其信仰ヲ失スルコ至ラ
 サルヤ必セリ主イイスハリストス自ラ已ノ頑敵ナルイ
 ウデヤ人ヲ遠避シタルハコレ蓋シ敢テ其害ヲ招クヲ欲セ

サレハナリ且主使徒ニ訓誡シテ曰ク若シ一邑爾ヲ窘逐セ
 ントセバ遁レテ以テ他邑ニ行ケヨト(馬太三十ノ)凡ソ信者タ
 ルモノハ人ノ佞諛甘言ニ陷イルナク確乎トシテ巳ノ宗教
 ニ熱心ナルヲ露ハシ必之ヲ隱スベカラズ蓋此ノ如クナラ
 ザレハ是全ク神ニ於ル虔敬ノ愛ニ合ハザレバナリ若シ誰
 カ人ノ佞諛ニ陷イリ己ヲシテ全ク宗教ニ何ノ縁モナク之
 ナ尊ブノ心ヲ失ハシムルコトアラハ將タ此ノ如キモノヲ稱
 ン人間トナスベキカ此ノ如キモノハ是レ人ノ人タル位ト
 人ノ宗教アリテ動物ト異ナル所以ヲ知ラズシテ之ヲ耻ツ
 ルヲ忘レタルモノト云ベシイイススハリストス曾テ誠テ

曰ク凡ソ我レ及ヒ我カ道ヲ耻ツルモノハ則人子モ亦聖父
 及ヒ聖神ノ榮トヲ以テ臨ムトキ必此人ヲ耻チント(路加九ノ)
(二十六)

誓約ノ一

今誓約ノ字義ヲ以テ此ノ意ヲ察スルニコレ何事ニ限ラス
 己ノ述ル諸件又ハ巳ノ爲ス所ヲ堅ウシテ之ヲ違ヘズ或ハ
 之ヲ約スルノ確的タシカタルヲ神ニ據リテ証スルヲ云ナリ故ニ
 此ノ誓約ナルモノハ人間社會ヲシテ泰平安全ナラシムル
 ノ最モ肝要タルモノナリ我等之ヲ以テ巳ノ虔敬ヲ彼ノ正
 直ヲ護リ詐偽ヲ警ムルノ神、全能者ニ露ハス或人ノ曰ク誓
 約ハ尤モ聖教ニ害アルモノナリト今前意ニヨリテ之ヲ見

ルニ此ノ誓約ナルモノハ聖教ニ於テ果シテ何ノ害アルヤ
 コレ決ノ聖教ニ乖違グハイキソムクスルモノニ非サルナリ今神言ヲ以テ
 之ヲ確證センハリストス嘗テイシライリ人ニ命シテ曰ク
 若シ爭論疑惑アルキハ必此ノ誓約ヲ以テ決定スベシト出
 及記二二十ノ八一復傳律例六ノ十三一是其一證ナリ使徒パウエル之ヲ確證ス
 へキノ言アリ曰ク人必更ニ大ナルモノヲ指シテ之ニ誓ヒ
 且既ニ失フニ誓ヲ以テスレハ爭辨皆息ニ定擬ス可キヲ致
 ス神モ亦其旨ノ不易ヲ將ニ其ノ許ス所ノ天國ヲ嗣カント
 スルモノニ表スルニ必此ノ誓約ヲ以テストエウレイ六ノ十六一是レ
 其二證ナリ

此ヲ以テ之ヲ視レハ誓約ハ唯至貴至重ノコトニ要スヘ
 キコト明ナリ若シ此ノ誓約ヲ要シテ細事ニ用ウルコトアレハ
 遂ニ必至上ノ神ヲ敬フ眞ノ虔敬ヲ亡滅シテ神ノ誠命ヲ犯ス
 ニ至ラン神嘗テ之ヲ懲誡シテ曰ク妄リニ神上帝ノ名ヲ稱
 スル勿レ若シ之ヲ稱スルモノアレバ其罪赦スベカラズト
エキ記二二十ノ七一出ツ豈慎マザルベケンヤ
 凡ソ信者タルモノハ必常ニ誠實正直ノミヲ行ヒ他人ノ信
 用ヲ得テ他人ハ信者ノ誓約ナキモ唯其ノ是ト否トノ一言
 ナ以テ之カ誓約ノ代リトナスカ如ク宜シク注意セズンバ
 アルヘカラス

吾儕公然ノ誓約ヲナス時ニ十字架ト福音經ニ接吻スルコトハ常ニ屢アル所ニシテ是所謂ル誓約者ノ誠實ヲ證スルカ爲ナリ福音經ニ接吻スル所以ハ是レ十字架ヲ以テ行ハレシ所ノ永久尊寶ノ救助ヲ以テ之カ質トナシ而シテ或ハ詐僞ヲ證スルモノ或ハ誓約ヲ犯スモノハ此永久尊寶ノ救助ヲ亡失スルモノタルヲ示ス所以ナリ

若シ誰カ社會相互ノ信任ヨリ生スル社會ノ幸福ヲ重シシ或ハ假令輕微ナルモ虔敬ト永生ノ望トヲ心中ニ貯ハフルモノハ之カ爲ニ誓約ニ違フコトヲ恐ル、ヤ甚シ且此ノ如キモノハ己レ誓約ヲ爲シテ之ヲ堅ウシ之ニ違ハザルコトヲ心

ニ確認セサレハ輕シシ其ノ誓約ヲ發スルコトナシ或ハ又己レ誓約ヲ發スルニ篤ク己ヲ省ミテ之ヲ遂ルノ力アルヤ否ヤヲ察セサレハ必輕シシ之ヲ發スルコトナシ

私祈禱

形体ノ尊敬ト其祈禱ニ於テ必公私ノ別ナカルベカラズ一チ公祈禱ト云ヒ一チ私祈禱或ハ一家ノ祈禱トモ云フ各人若シ一家或ハ一室ニ在リテ唯一己ノ傾心ヲ以テ祈禱スルヲ稱シテ私祈禱トハ云ナリ私祈禱ハ我等ノ尤モ不斷肝要トスベキモノニシテ常ニ天父ノ恩惠ヲ我等ニ降賜シ以テ其救助ヲ得セシムルモノナリ然リト雖モ吾人ノ如キ世ノ

諸物ヲ要スル所ノ肉身アリテ一生ヲ保存スルモノハ豈天
 使ノ如ク神ノ無量廣大カギリナキヲ讚頌シ終日祈禱ヲ以テ一生ヲ神
 ニ献ズルヲ得ンヤ故ニ我等聊カカ彼ノダビードダニイル
 及ビ其他ノ諸聖人ノ例ニ基ツキ之ニ倣フベシ蓋虔敬ナル
 我等ノ祖先等モ亦常ニ是等ノ聖人ニ倣フテ其ノ跡ヲ追ヒ
 シモノナリヨリテ我等ハ毎日ノ定期ヲ以テ神ニ祈禱ヲナ
 スベシ例ハ早朝未タ就業セサル前キニ先ツ神ニ祈禱シ
 或ハ午時食ヲ喫スルキ及ヒ晚夕既ニ業ヲ終ヘテ休安ニ就
 シキモ亦然ルヘシ凡ソ何時モ業ヲ始メ業ヲ終ハルキハ必
 先ツ祈禱ヲナシテ其事ヲ始ムルキニハ神ヨリ幸福ヲ願ヒ

終ハルキニハ感謝ヲ献セズンバアルヘカラス斯ク我等若
 シ終日神ヲ思ヒ而ソ萬事全ク神ニ屬スルモノタルヲ識ル
 一ヲ常ニ心ニ存セハ其百行ヲ爲スニ當リ神ヨリ恩惠ヲ得
 ルヤ必セリ

公祈禱

公祈禱トハ衆信者一處ニ集リ司祭ノ引導ニ從ヒ常ノ嚴式
 ナ以テ公衆ト偕ニ祈禱ヲナスヲ云ナリ今此ノ公祈禱ノ至
 重ニシテ信者ノ以テ職務トスヘキ所以ハ一ハ主イイスス
 ハリストスノ神恩ニヨリテ見ルベシ主嘗テ訓誡シテ曰ク
 若シ爾ノ中二人地ニ在リテ求ムル所ノモノ天父ノ旨ニ合

へバ天父必、爾等ノ爲メニ之ヲ成サン蓋何所ニ論ナク二三
 人アリテ我名ノ爲メニ集マレハ我亦其中ニ在ラント（馬太
ノ十九）又ハリストス自ラ聖機密ヲ設立シテ之ヲ行フベキ
 ナ聖教會ニ遺命セシテ以テ其ノ至重タルヲ見ルヘシ（路加
十九）二ハ諸使徒及ヒ之ニ引導ヲ受ケタル諸教會ノ首長タ
 ルモノ、例ヲ以テモ明ニ見ルヲ得ヘシ（使徒行傳二ノ七）三ハ
 使徒ノ勸言ニ依リテモ亦見ルベシ曰ク爾等信者ノ集會ヲ
 輟メズシテ宜シク相教勸スルニ詩章、歌頌、靈賦ヲ以テスベ
 シト（エウレイ十ノ二十五）四ハ公祈禱ハコレ我等チシテ神
コロス三ノ十八）ノ恩惠ヲ得セシムルモノナレハ此ニ由リテモ其ノ至重タ

ルヲ明見スルニ足レリ夫レ我等、世ノ心勞及ヒ生命ノ急
 迫ヲ脱スル虔敬ノ心ヲ發起スルニハ將々如何ナル所ハ尤
 モ便利且障礙ナキヤ豈此ノ公祈禱所ニ非スヤ蓋公祈禱所
 ニ在ルトキハ言語行事毎ニ皆此心ヲ起サシメザルハナシ
 我等神ノ無量ノ信愛ニ應ズルヲ將々如何ナル所ハ尤モ熱
 切ナルヤ豈此公祈禱ニ非ズヤ又憂愁哀痛ノ時ニ神ノ聖旨
 ナ頼ムノ望ヲ發起スルニハ將々如何ナル所ハ尤モ熱
 切ナルヤ豈此ノ公祈禱所ニ非ズヤ蓋此所ハ神ノ人ニ與フ
 ル涯リナキ美善ヲ証スル聖體機密ノ以テ行ハル、所ナレハ
 ナリイイススハリストスノ我等ニ大誠セシ神國ニ在リテ

ハ必兄弟ノ如ク心チ一ニシ友愛ヲ主トセズンバアルベカ
 ズトノ言ヲ記臆スル將タ如何ナル所ハ尤モ活潑ナルヤ又
 豈此ノ公祈禱所ニ非ズヤ故ニ此所ニ在リテハ富貴貧賤王
 侯庶民ノ別ナク皆深ク虔敬シテ以テ膝ヲ屈シ宇宙萬國ヲ
 統治スル所ノ大主ニ俯伏拜謝シ而シテ同心以テ神ヲ頌
 ンテ曰ク主我カ神ヤ願クハ我等ヲ助ケタマヘト且我等惟
 一ノ餅ヲ以テ聖休ヲ受クルハ又豈此ノ公祈禱所ニ非ズヤ
 コリ^コリ^リフ^フ前^前我等我カ死セサル靈魂ノ神國ト^{ユカリ}因緣アルヲ感
 ジテ毫モ障碍スルナク神靈ノ父ニ祈禱ヲナスハ將タ如何
 ナル所カ又豈コノ公祈禱所ニ非ズヤ故ニ此所ニ在リテハ

諸物皆一トノ天國ヲ思ハシメザルハナシ又皆我等ヲシテ
 善行ヲ起サシメサルハナシ我等モ亦口チ一ニシ心チ一ニ
 シテ以テ神ヲ謳歌頌讚スヘシ又不斷ニ神ノ無量廣大ヲ讚
 頌スルノ天使ヘルビムヲ深ク^{カモ}想像スルヤ又豈此ノ公祈禱
 所ニ非ズヤ此ヲ以テ之ヲ觀レバ公祈禱ノ至重タル豈確然
 タラズヤ若シ誰カ^{キズキ}無玷ノ知覺良心ヲ有スルコトアレバ是レ
 將ニ天上ニ進マントスルモノニシテ必、公祈禱ヲ切望シ且
 眞實偽リナク聖詠者ノ如ク讚スベシ聖詠者ノ曰ク人誰カ
 余ヲ^カ邀ヘテ神室ニ登レト云ハ、我ノ欣喜何ゾ之ニ勝ルモ
 ノアリシヤト^ト請^ニ篇^百二^一

人アリ分疏シテ曰ク我ハ公祈禱ノ時ニ讀ム所歌フ所行フ
 所ノモノ即信者ノ必、熱知スヘキモノミナ之ヲ知得シタレ
 バ公祈禱ハ我カ爲メニ肝要ノモノニ非ラズ唯不化蒙昧ノ
 モノニミ肝要ノモノナリト是レ公祈禱ノ真意ヲ解セサ
 ルモノト云ベシ夫レ公祈禱ノ本意タルヤ我等ヲシテ未タ
 知ラサルノヲヲ學バシムルニ非ラズ乃己ニ知得スル所ヲ
 以テ猶又深ク之ヲ記臆セシムルヲ本意トス蓋公祈禱ノ時
 ニ讀ム所歌フ所行フ所ハ悉ク我等ノ常ニ知得スル所ト雖
 凡我等常ニ世事俗務ノ中ニ在リテ屢其職分ヲ忘レ之ヲ勵
 ミ行フヲナク或ハ聖詠聖務ヲ以テ神ヲ敬フノ情ヲ起ス

ナク或ハ兄弟ニ對シ愛心ヲ起スヲ忘ル、ヲヲ奈如ニセン
 因リテ猶又深ク之ヲ記臆セシムルカ爲メノ公祈禱ナリ今
 シレ誰カ眞實ニ我ハ斯、ルヲニ毫モ肝要トスル所ナシト
 謂フヲ得ル乎コレ斷ン能ハサルヲナリ是ニ於テカ我等衆
 人ハ聖且缺クベカラサルノ務アリ即、定日毎ニ聖堂ニ於テ
 公祈禱ヲナスベキト是レナリ此ノ務ハ疾病若クハ延引ス
 ベカラザル大事ノ己ムヲ得サルノ外ハ瑣々タル小事ヲ以
 テ廢スベカラザルモノナリ
 或人曰ク神ニ祈禱スルニ此所彼所ノ別ナシ故ニ我ハ家ニ
 在リテ祈禱スト惑ヘル哉此人ヤ宜シク左ノ三條ヲ解得ス

ベシ一ハ我等タトヒ一ノ職務ヲ遂クルニ嚴重熱心ナルモ
 敢テ他ノ職務ヲ遂クルニ妨アルノ理ナシ一職ヲ遂クレバ
 他職モ準ジテ遂クルニ至ランニハ若シ誰カ我レ祈禱ヲナ
 スト分疏シテ公祈禱ニ怠ラバ後又種々ノ分疏ヲ作シ以テ
 公祈禱ヲ休ムニ至ルヤ易スシ三ハ公祈禱ナルモノハ衆信
 者ノ熱心ノ祈禱ヲ以テ感シ聖詠聖歌聖務ヲ以テ奉上シ並
 ニ最大ナル無血祭ヲ以テ奉上スルモノナレハ此ヲ以テ來
 ス所ノ救助恩惠ハ私祈禱ノ敢テ來ラス能ハザル所ナルヤ
 必然ナリ

公祈禱場ノコト

公祈禱ヲナスニ定場定期アリ

昔聖教ノ初ニ當テハ公祈禱ヲ行フカ爲ニ場所ヲ聖稱シテ
 天主堂トナセリ斯ク名ツケタルハ實ニ此ノ場所ノ當名ト
 云ベシ如何トナレハ天地ニ滿チテ在ラサルナキノ神ハ常
 ニ殊格ノ恩寵ヲ以テ此場所ニ臨ミ而シ目ニ之ヲ觀、心ニ之
 ナ思フ久シテ己マズ(列王紀略上九ノ三)且信者ハ恰モ神室ニ集會スル
 カ如ク此ニ來リテ同心同意神ヲ讚榮シテ己カ真情ヲ主神
 ノ前ニ吐露ス故ニ之ヲ稱シテ天主堂トナスハ實ニ當レリ
 ト云ベシ今此ノ一ニ就キテ訓誡スル一ニアリーハ則、此ノ
 聖堂ニハ必特別ノ虔敬ヲ以テ來ルベシ然ルニ此ノ虔敬ハ

必聖堂ニ在リテ伏拜スル所ノ神ノ妙麗ヲ識認スルコトニ相
 適合シ而シテ諸人ノ規鑑トナルベシニハ我等必、力ノ及ブ所
 ナシテ儼然トシテ虔敬恐怖ノ心ヲ起サシメ以テ之ヲシテ世
 事ノ情ヲ棄テ、天ニ向フノ情ヲ起サシムルカ如クナルベ
 シ虔敬ナル某作者ノ曰ク「聖堂ハ必其高キコト恰モ宮殿街屋
 ナシテ其足下ニ在ルカ如クナラシメズシハアルベカラズ」
 ト

公祈禱ノ定期ノコト

夫レ公祈禱ノ定日ハ日曜日ナリ此日ノ我等ニ著シルシキ

所ノ趣意ハ最重キ關係ニシテ我等ノ信望皆之ニ歸シ即、主
 イイススハリストスノ復活日、コレナリ（コリンフ前書）此日
 ニ於テハ專ラ虔敬ノ事業ヲ爲シ或ハ神ノ贖罪主ヲ降生シ
 タル無涯ノ恩愛ヲ思念シ或ハ我等ノ大主眼及ヒ未來ノ永
 生ヲ思念シ又神ノ無量廣大ノ功德ヲ記憶シテ純^{モツ}パラ虔敬
 ノ傾心感覺ヲ起スベシ又我等ヲ地ニ繫^{ツナ}縲シテ我カ靈ノ當
 サニ^{ス、ム}駿々平シテ天上ニ進マントスルヲ妨クル世ノ俗務ヲ
 絶ツベシ且此日ニ於テ各人神靈ヲ勵シ虔敬ノ思念ヲ以テ
 聖堂ニ來ルベシ蓋是レ信者ノ天ノ幸福ヲ得ルノ前門ナレ
 バナリ又此日ニ於テハ己ノ求ムル所ヲ他人ニ分與シテ此

ヲ以テ寶テ天國ニ積ムベシ或ハ相互ニ虔敬ノ一ヲ談話シ
 或ハ聖書ヲ讀ミ或ハ靈益ヲナスノ諸書ヲ讀ミ以テ互ニ善
 行ヲナサズンハアルベカラズ之ヲ略言スレバ信者タルモ
 ノハ必、此ノ日ニ於テ己ヲ處スルニ他人ヲシテソノ諸行ヲ
 視、以爲ラク信者此ノ世ヲ渡ルハ猶タビダ旅途ノ如ク其心將サニ
 最幸、最善、無比ノ世ニ向ハントスルノ希望誓約ヲ藏ムト思
 ハシメサルベカラズ

古、舊約ノ時ニ於テハ諸祭日、齋戒日、即「パスハ」祭、瞻禮日、
 ヲ「スポタ」ト同様ノ日ナリト思ヘリ新約ノ教會ニ於テ
 モ必、此ノ日曜日ノ外ニ亦神ノ光榮及ヒ至清至潔ナルマ

リヤノ名或ハ諸聖人ノ名ニ依リテ設立シタル諸祭日、
 齋戒日モ日曜日ト同様ニ了解セズンハアルヘカラズ

外体ノ尊敬ヲ誤マルノ預戒

我等能ク外体ノ尊敬ニ注意シテ不正妄信ノ尊敬若クハ眞
 行ニ合ハザル苟モ我等ヲシテ善ニ化セシムルナキノ尊敬
 ヲ戒心スヘシ（コロス二）此過ヲ避ンニハ必、毎ニ左ノ意ヲ心
 ニ藏メヨ即、神ハ是レ何ノ不足ナキユエ敢テ人、手、勤、待
 タ、ス、ト、雖、彼、レ、萬、民、ニ、與、フル、ニ、生、命、呼、吸、及、ヒ、万、事、ヲ、以、テ、セ、
 リ、且、彼、ノ、我、等、ニ、賜、フ、所、ノ、誠、命、ナル、モノ、ハ、皆、我、等、ヲ、惠、愛、ス
 ルヨリ出ツル所ニシテ我等ヲシテ善ニ改化セシムルカ爲

ナリ故ニ祈禱ヲナスニ自己^{シコ}ノ爲メニナスト思フヘカラズ
或ハ又祈禱ヲナスハ神ニ於テ要用タルモノト思フベカラ
ズ唯、神ノ旨ニ隨ヒ此祈禱ヲ以テ一ハ自己ノ爲メニハ衆兄
弟ノ救贖ノ爲ニ之ヲナスト思フヘシ是レ之ヲ深ク心ニ藏
ムルナラハ不正妄信ノ尊敬若クハ眞行ニ合ハサル毫モ我
等ヲシテ善ニ化セシムルナキノ尊敬ヲ避ルヤ必セリ

第二章

自己ニ對スルノ本分^{シブン}

信者タルモノハ必、勸善ノ訓ニ從ヒ宜シク自己ヲ眷顧ス可
シソレ自己ヲ眷顧スル亦天性ノ自愛ニ由ル蓋此ノ自愛ア

ルニヨリテ吾人自己ノ爲ニ善ヲ好ミ善ヲ求ントスルナリ
以弗所 **九五** 聖教ハ我等ヲ訓誡シテ人ヲ愛スル己ヲ愛スルカ
如クナラシム **馬太** **二十九** **四** 下 雖也敢テ自己ヲ眷顧スル天性
ノ自愛ヲ棄テ徒ニ他人ノミヲ愛スルヲ教フルニ非ラス唯
我等ヲシテ自己ヲ愛スル方カニ勸善ノ道ニ合ヒ宜シク人
ノ行クベキ道ニ至ルヲ教フルノミ又我等自己ヲ愛シテ世
俗ノ幸福ニ注目スルコトナク信者ノ大主眼トスル所ノ最モ
眞實肝要ノ幸福ニ向フヲ教フルナリハリストスノ曰ク爾、
財ヲ地ニ積ム勿レ唯財ヲ天ニ積メヨト **馬太** **六** **十九** **二十** 使徒曰ク
爾宜シク上ニ在ル情ヲ求ムベシ即イイスス神ノ右ニ座ス

ルノ所ナリ宜シク上ニ在ルノ情ヲ以テ念トナセ地ニ在ルノ情ヲ以テ念トナス勿レト（コロス三ノ一。二）

自己ニ對スル本分ノ分種

信者ノ大主眼トスル所ハ世ト時トヲ限ルニ非ラズ即、世ト時トノ界限ヲ越エテ遠ク永世ニ及ブモノナリ聖書ニ曰ク主イエスス許ス所ノ約ハ永生ナリト（イテアン前書二ノ二十五）是故ニ我等ノ自己ヲ眷顧スルハ必、世ノ生命ヲ以テ限ル能ハズ當サニ己ヲ永生ニ適應スベク備ヘズンバアルヘカラス聖書ニイエススノ言アリ爾宜シク先ツ神ノ國ト其義トヲ求ムベシト（馬太六ノ三十三）夫レ我等ノ身体ハ遂ニ是レ腐敗ノモノニ

シテ唯今生ニ於テ精魂ノ器具タルノミ故ニ我等ノ最モ眷顧スベキ所ハ必、不死ノ靈魂ヲ精成スルニ注意スルニアリ聖書ニ曰ク聖靈ニ種クモノハ則聖靈ニ由リテ永生ヲ獲ルト（ガラテヤ六ノ八）

今眼ヲ轉シテ身体上ヲ視察スルニ來世ノ今生ニ關係スルハ左ノ如シ人ノ來世ニ賞罰ヲ得ルヤ皆肉身ハ、今世ニ行フ所ハ、善、惡、ニ依ルモ、ハナリ（コリント後五ノ十）又我等ノ靈魂ハ身体ト親密ナル左ノ如シ靈魂ノ働ハ大ニ身体ノ健康安全ニ關ス故ニ自己ノ身体ヲ眷顧シ或ハ世ノ幸福ヲ計慮スル務ノ肝要ナルト一ニ此ニ在リ若シ是等ノ務ヲ爲スニ適當且端

正ナレハ從テ身体ノ健康一生ノ安全ヲ増シ百行ヲ精成シ
 テ靈魂ニ自由ノ働ヲ得セシムルニ至ル
 是故ニ信者ノ自己ニ對スル本分ヲ分チテ三種トス一ハ靈
 魂ニ對スルノ本分ニハ身体ニ對スルノ本分三ハ世ノ幸福
 ニ對スルノ本分是ナリ然ルニ此事ニ就キテ須ク信者ノ戒
 心スベキモノアリ即チ信者タルモノハ自己及世ノ幸福ニ對
 スルノ務ヲ守リツツ常ニ已ノ大主眼ヲ目前ニ記念セズン
 バアルヘカラス而シテ又常ニ救世主ノ言ヲ記憶シテ心ニ此
 大主眼ヲ求ムルニ向ハシムベシ救世主ノ曰ク人若シ全地
 ヲ獲ルモ己ノ生命ヲ喪ナハヤ何ノ益アラザヤト(馬太十六
 二六)

靈魂ニ對スルノ本分

我等大主眼トスル所ヲ記念シツ、常ニ必、左ノ意、即、血肉ハ
 斷、天、國、ヲ、嗣、ク、能、ハ、サ、ル、ト、テ、記、ス、ヘ、シ(コリ
 十五ノ五前書)人此
 世ト世ノ物ヲ愛スレバ神ヲ愛スルノ愛ハ其衷ニ居ラズ唯
 ハリストスノ意ヲ養ハント勉ムレバ以テハリストスノ名
 ヲ蒙ルニ堪ヘ且永福ヲ望ムニ堪フルモノトナラン使徒ハ
 リストスノ意ヲ解明シテ曰ク主イエイススハリストスノ靈
 若シ爾等ノ衷ニ居レハ則チ爾ハ肉ニ在ラズシテ靈ニ在リ
 凡ハリストスノ靈ナキモノハハリストスニ屬セザルモノ
 ナリト(コリ
 五)(ロマ
 九)是故ニ荷モ己ノ靈魂ヲ眷顧シ或ハ

己ヲ永生ニ適スルニ備ヘント欲スルモノハ先ツ神ノ恩寵
 ナ受ケ我身ニ迫^セマル世俗ノ思望ヲ脱シ或ハ我等ヲ地ニ束
 縛スル諸害ヲ滅シテ天上ニ進マントスルノ氣勢ヲ發起ス
 ベシ又世ノ思望情慾ニ勝チテ毫モ此感覺ヲ心ニ存スルナ
 ク之ヲ斷絶スベシ此ノ如クナレバ漸ヤク罪惡ニ失墜シタ
 ル百行ノ自由及ヒ靈魂ノ身体ヲ馭^ツスルノ權ヲ回復シテ其
 ノ靈魂ノ働ナシテ我カ主、神ノ聖ナル働ニ倣^{ナラ}ハシムルニ至
 ラン
 然ルニ此務ヲ成就スルヤ甚難キモノナリ之ヲ遂ルニハ必、
 終生、干戈ヲ取リテ世ノ思望情慾及ヒ内外ノ誘惑ト戰ハズ

ンバアルヘカラズ唯、信者ニ於テハ甚、難キニアラズ其故ニ
 アリ一此ノ諸難ノ信者ニ來集スルハ恰モ是レ永遠ノ幸福
 ニ至ルノ道路ナレハナリ二信者ハ此永遠ノ幸福ニ至ルノ
 勸慰ヲ以テ己ノ情慾ト戰フニ當リ常ニ己ヲ勞苦ニ勵マシ
 且之ヲ援クルニ大將ノ軍旗ヲ持シテ戰ヘハナリ今使徒ノ
 言ニ由リテ之ヲ明解スルヲ得ベシ使徒曰ク主神ハ固ヨリ
 誠ニ信ズベキモノ必爾ヲ堅ノ爾ヲ護^ゴリテ諸惡ヨリ免カレ
 シメント
 後書三ノ三
 吾人此ノ世ニ在テ多クノ不幸ニ際會スルハ是レ全ク吾人
 ナ愛鬱^{ツレヒ}ニ伏シ以テ其ノ靈魂ノ大主眼ニ進マントスルヲ衰

滅スルニ非ラズ唯吾人ノ諸善ヲ精成シテ漸ク之ヲ増進ス
 ルモノナリ今其確証ヲ舉ケン主イエススハリストス曰ク
 天國ハ猶芥種ノ如シ之ヲ地ニ播クトキニ地上百種ノ至微
 タリ唯之ヲ播クノ後生長シテ諸蔬ヨリ大トナリ且巨枝ヲ
 出シテ天空ノ鳥其蔭ニ棲ムヲ致スト又曰ク天國ハ猶人ノ
 種ヲ地ニ播クカ如シ夜ニ寐ネ夙ニ興キ而シ種發シ且長シ
 其人自ラ其然ル所以ヲ知ラズ蓋シ地ハ本ト物ヲ生スル始
 ハ苗ニシテ繼テ穗トナリ後穀ヲ成スモノナリト馬可四ノ三十一。三
 十六。廿八。是ノハリストスノ喩言ヲ視レハ前ノ所謂ル不幸
 ナルモノハ果シ吾人ヲ憂鬱ニ伏スルニ非ラズシテ反テ吾

人ノ諸善ヲ精成増進スル所以ナルヲ明ナリ唯吾人必、自力
 ノ及フ所ヲ盡シテ以テ諸事ヲ勉強スベシ若シ自力ノ及所
 ナ盡シテ遂ニ之ヲ遂ル能ハサルヲアラハ必之ヲ神、全能者
 ニ委マカセルス可シ是ニ於テ吾人必、彼ノ播種者ニ倣ハザルベカラ
 ズ彼レ種ヲ地ニ播キ力ノ及所ヲ盡シ之ヲ培養シ其生長ス
 ルニ至テハ神意ニ依マカセル任シテ雨露及ビ日ノ温氣ヲ賜フヲ待
 ツノミ知者ハ秋熟アキミルノ穀物ヲ獲ント欲シテ預メ春時ニ於テ
 播種培養シテ以テ穀物ヲ獲ルカ如ク吾人信者モ亦此短生
 ニ於テ靈魂ヲ全備スルニハ必、幼時ヨリシテ預メ之カ用意
 ナ成ザルベカラズユヘニ用意ヲナストキハ吾人百行ノ感

覺甚活潑ニシテ善行ノ強敵ナル惡習ノ如キモ其靈魂ニ蕃
 種スルヲナク又世ノ富貴尊榮ノ虛光ニ^{マド}街惑セラレ無益ノ
 心勞ヲ煩ハスヲナシ其レ此心勞ナルモノハ世ノ旅人チシ
 テ^{カモ}重荷チ負ハシムルカ如ク他日天國ニ進マントスルチ
 碍スルモノナリ聖哲之ヲ警誡シテ曰ク爾宜シク幼時ノ日
 ニ於テ爾チ造ルモノチ記臆スヘシ此日ヤ患難ノ未タ來ラ
 ザルノ先ニシテ爾カ我レ「此年ニ在テ樂シムベキ所ナシ」ト
 云フノ年モ亦未タ至ラザルノ時ナリト(傳道一)
 靈才チ精成スルノ本分
 夫レ我等ノ身ト心ノ諸力ハ之チ使用シ之チ鍛鍊スルニヨ

リテ發達堅固ナルモノナリ若シ之チ措キテ何ノ使用鍛鍊
 チモ加ヘサルキハ從テ減少微弱スルニ至ル(馬太二十五)是
 故ニ靈魂チ眷顧スルト其ノ才力チ發達精成スルトハ互ニ
 相須^マツモノニシテ須臾^{シラ}モ忽^{ニルカ}セニスベカラナルモノナリ若
 シ之ニ注意セザレハ其ノ罪三アリトナス一ハ神ノ賜恩ヲ
 輕視スルモノニシテ神ニ對シ、大罪ナリトス二ハ世ノ安全
 永久ノ幸福チ得ントスルノ良法チ輕視スルモノニシテ自
 己ニ對シ、大罪ナリトス三ハ他人ニ對シ大罪ナリトス蓋斯
 シ之ニ注意セサルモノハ是レ己ノ必ズ他人ニ尽スベキノ
 善チ減少スルモノナレハ他人ニ背クノ罪一ニ此ニ在リ主

イイヌスハリストス斯ノ如キモノヲ惡情ノ僕ニ比セリ此
惡情ノ僕ハ其主人ヨリ金ヲ受ケテ之ヲ増加スベキニ彼レ
此金ヲ地ニ藏メテ毫モ増加スルコトナシ故ニ主人ハ之ヲ罰
シテ絕域幽暗ノ所ニ至ラシメタリ

自己ノ智慧ニ對スルノ本分

抑々智慧トハ至重ノ靈才ニシテ吾人ノ志ヲ導キ其爲スベ
キモノト否トナ撰ビ而シテ之ヲ眞實良善ニ向ハシムルモノ
ナリ又勉勵愛情ヲ以テ之ヲ當サニ行フベキノ道ニ向ハシ
メ且凡テノ諸行ヲ取り極メルモノナリ智慧ノ旨意タル概
テ此ノ如シ是ヲ以テ之ヲ視レバ百行ヲ精成スベキ此世路

概

ニ於テ智慧ヲ正シク使用發達スルハ最モ肝要タリ故ニ我
等ハ必此智慧ヲ啓發精成スルノ本分ナカルベカラサルナ
リ今此ノ智慧ノ旨意ニ適應セシムルニハ「一」ニ必此ノ智慧ヲシ
テ成ルベク眞ノ開發眞正ト基本ノ智識ニ至ラシムベシ而
シテ此知識ハ則チ信者ノ必要ト必知ラザルベカラサルコト
チ解シ及ビ我等自己ノ志望ヲ神ノ志望ニ倣倣スベキ所以
チ解スルヲ云ナリ使徒之ヲ訓誡シテ曰ク爾愚トナル勿レ
當カニ彼ノ主ノ志ヲ明カニスベシ又能ク主ノ悦ブ所ヲ察
スベシトエフエスノ十七、十五今若シ我等之ニ違フテ其ノ智慧ヲ眞正
ト基本ノ知識ニ至ラシムルコトナクシハ其智慧ハ反テ至惡

不正トナリ我志ノ依頼ナキ導者トナランノミ此ノ如クナ
 レハ我等、縦令、熱心ヲ以テ教ヲ信仰スト雖厄其大惑大罪ニ
 陷イルヤ亦實ニ易スシト云フヘシ
 神ノ志ハ我等良心ヲ以テモ（ロマ書二ノ十四、十五）又萬物ニ因リテモ
 能ク之ヲ識リ得ルト雖厄明瞭ニ之ヲ教フルモノハ聖書ナ
 リ故ニ苟モ神志ヲ識ラント欲スルモノハ必致々トシテ此
 ノ聖書ヲ誦習セサルベカラス我神師ハリストス嘗テ我等
 ニ語テ曰ク爾宜ク聖書ヲ探索スベシト（イチアソフノ三十九）使徒モ
 亦我等ニ訓ヘテ曰ク宜クハリストスノ道ヲ爾ノ衷ニ充塞
 スヘシト（コロス三ノ十六）又聖詠者ノ曰ク神ノ法ヲ悦ヒ日夜其法

ヲ思念スルモノハコレ福タリト（詩篇一ノ二）

然ルニ此ノ聖書ヲ讀ミテ正シク之ヲ解スルニハ將タ何ノ
 術ヲ要スベキカ今之ヲ左ニ舉ケン即チ「甲」之ヲ讀ムニ必先
 ヲ虔敬ヲ要ス又熱心ニ神師ハリストスニ祈禱シテ之ヲ正
 讀スルヲ願フベシ蓋ハリストスハ嘗テ使徒ノ聰ヲ開キ、之
 ニ、諸、聖、書、ヲ、悟、ラ、シ、メ、タ、ル、モ、ハ、ナ、レ、バ（ルカ二十四ノ四十五）我等ノ智
 慧ヲモ亦巳ノ靈光ヲ以テ啓クヲ祈ルヘシ「乙」諸師父ノ書
 及ビ凡ソ教會教師ノ教訓ニ導カルヲ要ス蓋使徒ノ曰ク
 聖神ハ督者（カシラ）ヲ立テ、主ノ教會ヲ牧セシムト（使徒行傳二ノ十）夫
 レ聖書ハ吾人ヲシテ正シク永生ニ至ラシムルノ良法ナレ

ハ信者タルモノハ(詩篇百十)必之ヲ熱讀シテ後ニ世ノ學業
 ナ勉メ以テ己ノ才智ヲ發トキ社會ノ百業ヲ成就シ萬民ニ裨
 益ヲナサズンバアルヘカラス茲ニ信者ノ注意スベキ規法
 三アリ「甲」此知識ヲ求ルハ好事ノ心ヲ満足スルニ非ラズ又
 虛慢ウシヲ満足スルニモ非ラズ唯此ノ知識ヲ増シテ己ト人ニ
 眞實ノ利益ヲ盡シ以テ天ニ對スルノ本分人ニ對スルノ本
 分自己ニ對スルノ本分ヲ十分ニ行ヒ得ルニ至ルヲ要スル
 ナリ「乙」此知識ヲ増進スルヲ勉メ而シテ恒ニ智慧ノ今生ニ限
 リアルヲ心得ベシ且ツ今世ノ知識ハ満足全備スル能ハザ
 ルヲ心得ベシ若シ之ヲ心得ルコトナクンハ恐ラクハ使徒ノ

日ハレシ如ク我等ノ聰慧ハ神前ニ在リテ不智トセラレハ

書コリ三ノ十九前「夫レ世上學業ノ範圍ハ廣大ニシテ悉ク之ヲ

學ビ得ントストモ其才力時日ノ限リアリテ遂ニ之ヲナス
 能ハスニヘニ信者ハ學業ノ殊ニ己ノ才能ニ應ジ且今時後
 時ニ於テ要タルモノヲ撰ビテ之ヲ學ヒ而シテ自己他人ノ爲
 メニ眞實ノ利得ヲナサズンバアルヘカラス

「二」智慧ヲ精成スルニハ必先ツ恒ニ今生永生ノ眞福ニ關ス
 ル尤モ至重ノコトヲ思慮計考スルヲ以テ之ヲ練磨セズンバ
 アルヘカラス而シテ此ヲ以テ漸々其智力ヲ堅メ其諸發動諸
 傾向ヲ統フルノ權ヲ堅メ且己ヲ習鍊シテ萬事ヲナスニ其

將來ヲ注意計慮シテ後ニ之ヲ始ムベシ聖書ニ曰ク爾心ヲ
 尽シテ爾ノ將來ヲ思慮スルコトアレバ必永久ニ過チナサ
 ラント（シラフ七）コレ百行ヲ正シク化スルノ道ニ於テ甚至
 重タルモノナリ平生ノ行狀ニ於テモ亦然リ蓋是レ我等ヲ
 預戒シテ行事行狀ニ毫モラフ狼狽バウナガラシムルモノナリ其レ
 是ノ狼狽ハ屢々正意良心ノモノナシテ大罪ニ陷イテシメ
 遂ニ困苦後悔ノ原因トナルモノナリ
 夫レ自己ノ思慮ヲ以テ知慧ヲ練磨センニハ必先ツ種々ノ
 難解疑惑ムツカシキヲ要スルモノニシテ此知慧ヲ練磨スルト難解疑
 惑トハ二ツナカラ相須ツモノナリ時トシテ或ハ此難解疑惑

ハ不淨ノ源因即チ愚昧、自慢、僻論等ヨリ生ジテ往々我等ニ
 罪惡ヲ蒙ラシムルコトアリト雖モ又時トシテ尤モ謙徳正心
 ナ有スルモノ、靈魂ニ發出シテ能ク其迷邪マヨヒヲ啓キ妄信ヲ
 壞ブリ以テ其ヲ眞ノ基本ノ知識ヲ起スノ良法ヲ得セ
 シムルモノナリ是故ニ我等必斯、ル難解疑惑ヲハ故ラニ
 靈魂ニ畜タケルフルコトナカルベク他人ニモ亦容易ニ之ヲ及ス
 ナカルベシ殊ニ未タ教法ニ堅信ナラサルモノニ於テハ尤モ
 言ヲ待タサルナリ然リト雖モ力ノ及ブ所ヲ盡シ此ノ難解
 疑惑ヲ理解セズンハアルヘカラス而シテ之ヲ理解スルニハ
 唯知識ノミヲ以テ足レリトナス能ハス乃チ知識ト眞情ト

ヲ以テ之ヲ理解スベシ又鍊達^カ剎^カ度敬ナル人々ノ^カ勘考^カヲ
以テスベシ殊ニ心ヲ至上師ニ向ケテ聖詠者ノ如ク神ニ請
求スベシ聖詠者ノ曰ク神ヤ願クハ我カ眼目ヲ開キタマヘ
然ラハ即チ我レ爾ハ法ハ奧妙^{オウフカキ}ヲ理解セント

意ニ對スルノ本分

夫レ意ハ自由ト共ニ至上者ヨリ吾人ニ賦與シ玉フ所ノ權
能ニシテ專バラ是非善惡ヲ分別スルモノナリ然リ而シ我
等ノ主眼トスル所ハ唯善ト聖トヲ擇ブニ在ルノミ使徒曰
ク爾ヲ召スモノハ聖ナリ爾モ亦宜シク萬事ニ於テ此ノ如
クナルベシト^{ペ一ノトル前}是故ニ我等造物主ヨリ賜ハリタ

ル此意ヲ公用シテ以テ善ヲ擇ヒ惡ヲ避クベシ然ラザレバ
是レ之ヲ使用スル誠ニ不法ナリト謂フベシ然ルニ之ヲ使
用スル他ナシ必恒ニ之ヲ智慧ニ符合セシメテ全ク其^{ツキモ}附屬
者トナスニアリ即チ恒ニ意ヲシテ福音ニ^{ララス}照化セラレタル
智慧ノ以テ眞實良善トスル所ヲ擇ビ^{ケガレ}汚穢罪惡トスル所ヲ
捨テ而シテ^{キレシユク}救^メ卹^ムヲナスノ習慣ヲ得セシムベシ若シ此ノ如ク
モザレバ恐クハ我等ノ意ハ遂ニ情慾ノ^{タムレダシク}戯具或ハ罪惡ノ器
具タラン使徒之ヲ警誡スルノ語ニ曰ク爾宜シク萬事ヲ察
シテ其善ナルモノヲハ之ヲ擇ヒ惡ナルモノヲバ之ヲ避ク
ベシト^{フエサロニカ前}使徒ノ訓^{書五ノ二十}ツル所ハ將タコレ何ノ意ゾ

是レ則諸事ヲ行フニ必先ツ戒心ノ思考自信ヲ以テスベキ
 所以ナリソレ此ノ戒心ノ思考自信ナルモノハ近キハ我等
 ノ爲メ遠キハ他人ノ爲メニ仁愛且正實ナルモノナリ
 夫レ情慾ナルモノハ時トシテ善人ニモ起ルモノニシテ其ノ
 思考ヲ矇マシ其ノ正思正慮ニ障礙ヲ加ヘ遂ニ我等ノ志ヲ
 迷惑シテ惡ヲ善ニ擬シ以テ罪ニ陷イラシムルモノナリ故
 ニ我等ハ「一」ニ自力ノ及ブ所ヲ盡シテ此情慾ノ増加スルモノ
 ナク避除スベシ且之ヲシテ神ノ法誠ニ服ビシメ即、聖書ニ謂
 フカ如ク之ヲ十字架ニ釘スベシ「二」ニ縱令此情慾ニ動搖セ
 ラル、コアルモ敢テ之ニ抵抗セズ唯我カ決心ヲシテ靈魂

ノ平靜ニ復スルヲ待ツベシ此ノ如クナレバ終ニ必我カ意
 ナシテ堅固ナラシムルニ至ラン意ノ堅固ハ大ニ百行ノ精
 成ヲ助ケ又眞ノ善行ヲナスニ要用ナルモノナリ人若シ誰
 カ思慮自信ナクンバ何事モ決セサル様ニ已テ習ハシメバ
 我カ眞實ト見認セシコト持シテ毅然トシテ動搖セララル、
 コトナシ之ニ反シテ恒ニ毫モ戒心思慮スルコトナク已ノ欲ス
 ル所ヲ行ヒ或ハ美容佳景ニ誘引セラレ或ハ他人ノ無思無
 慮ノ談話ニ從ヘバ恰カモ蘆ノ風ニ飄蕩セラル、カ如キモ
 ノニシテ今日致々トシテ有益ノ事ニ就クモ明日ニ至レハ
 之ヲ棄テ、他事ニ就クモノニシテ誠ニ眞ノ善行ヲ得ル能

ハザルモノナリ且其レ良善有益ノ行爲ハ全ク此ノ行爲ノ
 眞實有益ナルヲ自信シ之ニ勸動セラレヨリ出ツルニ非ラ
 サレハ何ノ德行モアルヲナキヤ必セリ蓋シ此ノ行爲ノ昇
 進スル偶然ニ依レハナリ
 此意ノ堅固ナルハ善行ノ爲メニ緊要ナルヲ極テ多シ而シ
 剛復ノ害アルモ亦多シト云フベシ剛復トハ則クトヒ道理
 ナクモ己ノ一度得タルヲ或ハ決セシヲハ遂ニ之ヲ去ル
 ヲナク之ニ信依スル堅クシテ且久シキヲ保タント欲シ人
 何如ナル善良ノ諭訓ヲナスモ之ヲ肯セズシテ己ノ見識ヲ
 變シ己ノ過ヲ改ムルヲ以テ耻辱トナスモノヲ云フ斯、ル

剛復ハ是レ最愚ナル自慢ト謂フベシ今此ノ自慢ヲナスモ
 ノ、如何ンヲ視ン「一」此ノ如キモノハ自カラ己ヲ無疵ナリ
 トシテ到底他人ノ卓越ヲ我カ目前ニ覺認スルヲ欲セズ「二」
 己自ラ盲ニシテ深ク他人ノ無疵ヲ信ズルカ如キ皆是レ剛
 復ノ心アルニ由ルナリ是故ニ苟モ此ノ如キニ至ルヲ欲セ
 ザルモノハ必之ヲ慎マザルベカラス蓋此ノ剛復ハ大ニ行
 狀ノ方正ヲ害シ其人ヲシテ賢良虔敬ノ人ニ交ハルヨリ出
 ツル所ノ潔白ノ慰樂ヲ受ルニ當ラザラシムレハナリ
 良心ニ對スルノ本分
 夫レ人ノ才能才力ノ由リテ長統シ由リテ堅固ナル所以ハ

皆之ヲ鍛練スルニ在リ百行ノ感覺發動若シクハ良心ノ善ニ歸シテ惡ヲ避クルモノモ亦之ヲ鍛練スル彌々精ケレハ從テ活動力ヲ増スニ至ラン而シテ良心ハコレ百行ヲ善化スルニ於テ大ニ至重ナルモノニシテ我等ニ證スルニ人ノ大道ヲ有スルヲ以テス我等ヲシテ宗教ニ向ハシメ情慾ノ感誘ニ從ハシメズシテ至上靈魂ノ全備ニ奮起セシメ而シテ我等ノ福音經ニ訓戒セラル、善行ノ爲メノ勞苦ヲハ我等ヨリ減少スルニ世ノ種々ノ歡樂ニ秀ツル眞ノ靈和靈喜ヲ報與スルヲ以テス是ヲ以テ之ヲ觀レハ良心ニ對スルノ務ハ非常ノ至重タルヤ、明ナリ

此ノ至重ノ務ヲ遂ルハ左ノ三條ヲ遵守スルニ在リ第一使徒ノ論訓ニ從フテ眞實良善公義廉潔愛スベキ稱スベキ徳アリ譽アル者皆之ヲ思念スヘシ(フイリツプ)四ノ八(フイリツプ)或ハ又眞丈夫タルモノ、偉行ヲ思倣スベシソレ眞丈夫タルモノハ如何ナル懲罰誘惑ヲモ意トスルコトナク毅然トシテ道義ヲ踏ミ而シテ眞實善行ノ爲メニハ最義ナル寶貴ノ祭ヲ獻ズルニ至ルモノナリ殊ニ若シ能ク戒心ヲ盡シ心意ヲ全ウシ以テ贖罪主ノ聖行ヲ思ヒ又主ノ萬民ヲ愛スルノ愛ト天父ノ旨ニ順フ確然フユ不渝カハラズノ忠トヲ思ヒ及ビ彼ノ殘忍ナル敵人ノ爲メニ主ノ十字架ニ釘セラレシ時ノ平和ノ祈禱ヲ思ハゞ以テ此

至重ノ務ヲ遂ルニ至ルヤ必然ナリ斯ク主ノ聖行ヲ思フ時
 = 當リ我等百行ノ發動ト至善ノ誠心ハ活潑熱切ニ至ルヤ
 亦之ニ比スル者ナカルベシ且信者ノ肉体ノ爲メニ尤モ辛
 勞ヲ遂ルモ亦屈セスシテ能ク之ヲ全ウスルニ至ラン
 第二勉メテ妄言者、不慎者或ハ行狀ノ鄙陋ナルモノト交際
 スルヲ禁スベシ而シテ己ノ事業ヲ終ヘシ後ハ宜シク其餘時
 テ以テ聖且正ナルモノト交ハルベシ或ハ虔敬ノ家内ト共
 = 時ヲ送ルモ亦可ナリ然ルニ此家内ト相交ハル時ニ當リ
 惡事ハ勿論舉動ノ細微ニ至ル迄モ能ク之ヲ注意スヘシ
 第三常ニ良心ノ趨向スル所ニ從ヒテ之ヲ成就スヘシ蓋、悉

々シ良心ノ趨向スル所ヲ成就シ而シテ世ノ私情慾心又ハ虛
 榮浮華ニ抗抵シテ以テ萬事ヲ成就スレハ我等自カラ心中
 ニ満足ト幸福ヲ感スベシ唯此成就ハ多クノ障碍ト患難ト
 ニ遭遇スルコトアルアレハ此感モ亦必多キニ至ラン而シテ心
 中ノ満足ハ我等ノ爲シ難キ務ヲ助成スルモノニシテ能ク
 良心ノ指揮ニ從ヘハ良心モ亦彌々強勢トナリ其慰藉快樂
 モ彌々増加スルニ至ラン且良心ノ禁スル所ヲ行フ能ハザ
 ルト或ハ辛艱勞苦ヲキ務ヲ遂ル能ハザル時ニ強ヒテ良心
 ノ指揮ニ從ハ、彌々其ノ心ニ幸福ノ成備ヲ得ルニ至ラン
 若シ人誰カ之ニ反シテ良心ノ訓示ヲ蔑視スレバ遂ニ情慾

或ハ惡習ニ陷イリ常ニ脆弱ノモノトナリ人ノ本性タル良
セイシヤク
ヨハキ
 善ノ徳ヲ消亡スルニ至ラン此ノ如キモノハコレ無言無心
 ノ木石ニ類スルモノニシテ豈人トナスヲ得ン哉
 自己ノ身体及ビ總テ今生ニ對スルノ本分
 聖書我等ニ教ヘテ曰ク今生ハコレ養育ノ時ニシテ來生ノ
 爲ニ備具スルナリト故ニ我等今生ヲ視ル猶造物主ノ恩賜
 トシテ之ヲ保存スルヲ以テ務トナスベシ又宜シク今生ニ
 注意シテ苟モ妄行ヲ爲スベカラズ之ヲ保護シテ壽命ヲ長
 ウスベシ而シテ此ノ恩賜ヲ適用スル久シケレバ從テ來世ニ
 至ルモ全タカルベク又來世ノ悅樂ヲ受クルコトモ多カルベ

シ聖書ノ外亦之ヲ我等ニ思ハシムルモノアリ即今生ヲ愛
 スル自然ノ愛ナリ此自然ノ愛ナルモノハ至上施惠者ノ全
 智ノ惠ヲ以テ我等ニ賦スル所ニシテ其之ヲ賦與スルノ意
 ハ我等痛哀愛愁ノ時或ハ茫然自失ノ時或ハ督者ノ諭言甚
カサシム
ウレヒ
オシヤリ
 タ微ニシテ我等ヲ訓誡スルニ足ラザル時我等其生ヲ犯ス
 コトナカラシムルカ爲メニ之ヲ賦與シタルモノナリ今ソレ不幸
 ノ極ニ居ルモノハタトヒ遠ク今世ノ諸樂ニ睽隔スルモ此
クイカク
ソムク
 ノ自然ノ愛アルニ由リ猶壽命ヲ長ウセンヲ願フヲ以テ觀
 ルベシ
 然ルニ信者タルモノハ一生ヲ護リ永ク之ヲ保存スルニハ

唯自守自然ノ愛ニ依寄スベカラス是獨禽獸ノナス所ノミ
 信者ニ至テハ唯虔敬ヲ以テ施生者ニ感謝シ生命ノ本旨ヲ
 正解シテ以テ一生ヲ護存スベシ斯ク一生ヲ保存セントス
 ルノ正勸正動ニ循フテ當ニ殃害ヲナスノ意思即、自裁ヲ以
 テ生ヲ戕^{ソコナ}フカ如キヲナスベカラス然ルニ信者ハ如何ナル
 難苦殃害ニ遇フトモ斯、ル自裁ニ至ラサルハ幸ナリト云
 ヘシ蓋信者ハ常ニ深ク思想スル所アリユハニ曰ク至智至
 善ノ天意ヲ以テ之ヲ視ルニ生命ハ幸不幸ニ論ナク皆其百
 行ヲ精成スルモノニシテ泣涕ヲ以テ世ニ播キタルモノヲ
 ハ後、悅樂ヲ以テ之ヲ獲ルニ至ルベシト

夫レ自裁者ハ神前ニ在リテ、大罪タルヲ猶忘恩者及ヒ不順
 者ノ如シ人前ニ在リテモ亦然リ蓋人ハ我身体ヲ健康ニシ
 他人ノ裨益ヲナスベキモノナルニ苟モ自裁ヲナス者ハ其
 裨益ヲナサズシテ反テ之ヲ奪取スルモノ、如シ豈罪アリ
 ト云ハザルベケンヤ殊ニコノ自裁者ハ社會ノ裨益ヲナサ
 、ルノミナラズ父母妻子兄弟アリテ之ヲ保護養育スベキ
 責任アルニ斯ク自ラ殺害セハ其罪一層大タリト謂ベシ又
 自己ニ對シテモ亦然リ蓋人ハ神ヨリ百行ヲ啓發精成シテ
 永生ノ爲メ己ヲ備具スルノ方法ヲ賜ハリタレハ已^レ自カラ
 殺害スルハ自^ミカラ此賜ヲ奪フニ異ナラズ豈亦大罪ト云ハ

ザルベケンヤ而之ヲ稱シ法ヲ犯スノ大罪トナス一異教
 人ト雖也亦然リ昔グレチヤノ理學者アリストテリノ曰ク
 「人窮厄痴愛愛戀ヲ避ケントシテ自死スルモノハ之ヲ稱シ
 勇者トナスニ足ラス蓋シセキニコロ狭心愚輩ノナス所ナレハナリ」ト
 又グレチヤノ理學者マルチアルモ云ル「アリ曰ク「人困難
 窮厄ノ時其生命ヲ輕スル「甚タ易スシ然ルニ此生命ヲ輕
 スル「チ忍耐スルコソ果シ勇者ノナス所ナリ」ト
 唯眞實ノ信者ハ恒ニ心ニ使徒ノ恩言ヲ記シ平靜安康ニシ
 テ遁ルベカラザル死期ノ至ルヲ待ツノミ使徒曰ク生キル
 モコレ主ノ爲メ死スルモ亦主ノ爲メナリ故ニ死生ハ神ニ

属セザルハナシト（ロマ書十）且信者ハ恒ニ一生ヲ愛シテ預
 メ之ヲ善行或ハ郷國（ロマ書）ノ爲メニ具備シ而シテ神師ハリストス
 ノ我等ヲ愛スルカ爲メ其身ヲ棄テ以テ門徒ニ誠命セシモ
 ノニ倣フベシ神師ノ言ニ曰ク爾等互ニ相愛スル猶我が爾
 チ愛スルカ如クセヨ是レ我カ誠ナリ人兄弟ノ爲メニ命ヲ
 損スルハ愛コレヨリ大ナルハナシト（イテアノ十五）夫レ生
 命ヲ愛顧スルノ務ハ已テ精成スルノ方法ニシテチ自己ヲ
 壯健ナラシムルノ務ト必相須ツモノナリ若シコノ務ニ注
 意セズンバ遂ニ一生ヲ遺棄スルニ至ルモ知ルヘカラス又
 身体ノ壯健ハ靈魂ノ器具タル我等ノ務ヲ成就スルノ方法

ニ於テ身体ノ微弱ヨリハ其利益ヲナスヤ必、多キモノナレ
 バ我等能ク深慮シテ以テ我身体ヲ壯健ナラシムルモノヲ
 擇ビ而シテ壯健ヲ壞リ害ヲ身体ニ加フルモノヲ避クヘシ信
 者タルモノハ宜ク品行ヲ方正ニシ就業ト休息ト能ク時ヲ
 定メ快樂ヲ恣ニセス睡眠ヲ貪ホラズ有害ノ飲食ヲ避ケ精
 神ノ平安ヲ得ルヲ勤ムヘシ是レ皆我カ身体ヲ壯健ナラシ
 ムルノ良法ナリ若シ之ニ反シテ饕餮貪飽ヨクフカキムサ或ハ放逸邪恣キマ、ワルキ其
 他不正ノ行狀等ハ遂ニ靈形ヲシテ衰弱ナラシメ且諸病惡
 ノ根原トナルモノナリ

貪慾忿怒驕傲嫉妬凡テ不正ノ情慾及ビ世俗ノ爲メ過勞ス

ルカ如キハ皆善行ノ大敵ニシテ身体ノ壯健ニ極メテ殃害
 ナ加フルモノナリ古聖人ノ曰ク憤怒リンキ格氣オシムハ日數ヲ省減ス
 ルモノニシテ悲痛哀哭ハ其人ヲ老邁ニ至ラシムルモノナ
 リトシラフ三十是故ニ我等必、智識ノ權ヲ借り諸慾ヲ抑省
 シ勉テ之ヲ消亡スベシ

又信者タルモノハ宜シク壯健ヲ害スルノ諸物ヲ避ケ而シテ
 疾病ノ時ニ當リ之ヲ癒スノ方法ヲ用ウヘシ且生命ト壯健
 ナ吾人ニ與フル所ノ在ラザルナキ天ノ賜恩者ニ祈禱シテ
 良醫ノ助ヲ請フベシ此ノ良醫ナルモノハ神ノ惠ヲ得ルノ
 良器ナリ古聖人我等ニ訓誡シテ曰ク我子ヤ爾疾病アラハ

之ヲユルカセ忽カセニスルヲナク宜シク神ニ祈禱スヘシ然ラハ則チ神
 爾ヲ癒スニ至ラン又罪過ヲ遠避シテ爾ヲ諸罪ヨリ清潔ナ
 ラシメン又良醫ヲ頼ムベシ是レ神ノ作造ニ係ルモノニシ
 テ天ヨリ賜ハル所ナリ即チ神ハ地ヨリ藥草ヲ造リ而シ賢
 者ハ之ヲ嫌忌セズト（九。十。十二。二。四。八。ノ）衣服ノ如キモ信者タ
 ルモノハ必其地位ニ相應スルノモノヲ用ケヘシ而シ宜シ
 シ恒ニ使徒ノ訓誡ヲ心ニ藏ムヘシ使徒曰ク爾ノ飾ハ外貌
 ニ在ラス故ニ（辨髮）金キン瑛ケツ文文繡繡ノ如キ身ニ加フレ勿レ唯己カ
 内内心心ヲ慎メヨ其靈、溫柔恬靜ニシテ其飾ハ壞ルヘカラサル
 ノモノナルベシ是レ神前ニ在リテ至寶タルモノナリト

||ベ|

トル前書三五夫レ外飾ニ心ヲ用ウルヲ過度ニシテ時好ノ僕
 役トナルモノハ大ニ諸病ヲ醸カモスニ至ル或ハ又外飾ニ心ヲ
 用ウルヲナク全ク之ヲ輕視シテ信者ニ相應セザルノ粗飾
 チナスモノモ同シク諸病ヲ醸スニ至ル豈注意セザルベケ
 ンヤ

世ノ幸福ニ對スルノ本分

世ノ幸福ヲ求メ或ハ世ノ幸福ヲ以テ安慰ヲ得ント心ヲ傾
 クルヲ各人概シテ然リコレ人情ノ然ラシムル所ナリ今ソ
 レ世ノ幸福ナルモノヲ擧クレハ則富貴、高官、及、榮名ノ如キ
 皆稱ノ世ノ幸福ト云ベシ唯ソレ之ヲ名クルニ世ノ幸福ヲ

以テスルモノハ蓋シコレ内心ヲ満足スルヲ能ハズ之ヲ有
 スルモ其内心ニ幸福ヲ覺エザレバナリ然ルニ聖教ニ於テ
 ハ此自然ノ傾心ヲ全滅スルヲナク又之ニ對スルノ務ヲ禁
 スルヲナシ蓋シ此ノ傾心アレハ我等ハ之ニヨリテ大主眼
 ニ至ルヲ得ベシツレ靈魂ノ平和安慰ニシテ世俗ニ煩勞セ
 サルモノハ其職務ヲ遂クルニ當リ究乏ニ驅虐セラレ、ノ
 靈魂ニ比スレハ甚精良ナルベシ惟聖教ハ此傾心ヲ界限シ
 テ之ヲ養育シ即、耽愛ニ向フヲナク信者ノ功德大主眼トス
 ル所ニ應セシムルナリ何トナレハ信者タルモノハ今生ヲ
 見ル猶故國ニ至ルノ行旅ノ如ク今生ノ快樂麗美ヲ見ル猶

旅人ノ路頭ニ偶見スル勝景ノ其心ニ快ナルモノ、如シコ
 ノ勝景ハ如何ンシテモ旅人ノ路ヲ遮ル能ハス却テ旅人ヲ
 シテ其路ヲ急過セシムルノ故ニ之ヲ以テ目的トナスベ
 カラス乃、唯旅人ヲ助クルモノトナスベシ

富貴ニ對スルノ本分

生命ヲ保存センカ爲メ種々肝要ノモノヲ求ントスル自然
 ノ發情ノ外、聖書我等ニ所有ヲ求ルニ必、勞動スベキヲ訓フ
 使徒曰ク人若シ勞スルヲ欲セザレバ以テ食スルヲ勿レ
 トフエサロニカ後書三ノ十又曰ク宜シク愛テ人ニ顯ハスベシ即、饑者ニ
 食ヲ與ヘヨ裸者ニ被ラセヨ孤者獨者ヲ家ニ延キテ之ニ供

セヨト是レ使徒ノ訓命スル所ナリ然ルニ自己ニ對スルノ
 本分ハ必善行ノ徳アリテ至上ノ靈善ニ對スルノ本分ト相
 合ハズンハアルヘカラス由リテ信者ハ必左ノ六條ヲ遵守
 セザルベカラズ第一恒ニ神及ヒ神師ノ教訓ヲ覺知スヘシ
 聖書ニ曰ク先ツ天國ト其義トヲ求メヨ然ラハ諸物皆爾ニ
 與ヘントソレ所有ヲ得テ神旨ノ世ニ行ハルノ一助トナ
 シ成ル丈ケ神ト人ニ愛ヲ顯ハサ、ルヘカラス是故ニ所有
 ナ視テ以テ大旨意トセズ唯此至上ノ旨意ニ至ルノ方法ト
 ナスベシ

第二眞ノ善行ト社會ノ利益トナルモノヲ擇ヒテ所有ヲ求

ルノ方法トスベシ蓋人若シ全地ヲ得ルモ己ノ靈ヲ失ナハ
 ヲ何ノ利益カ之アランヤソレチ聰智及ヒ聖言カ所有ヲ求ル
 ニ付キ我等ニ勸命スル所ノ貴トシ且法トルベキノ方法ハ
 皆勞動ノ正ニシテ我等ノ力ヲ制シ又力ヲ堅ウシ以テ他人
 ノ利益ヲ助ケムダツカヒ狼費ヲ節シ而シテ百行ノ善ニ勤ムルモノナリ
 故ニ懈怠不勤ハコレ常ニ不善ノ母タリシラフ三十八

第三常ニ專ラ己ノ職分ニ勤勞スベシ而シテシ作事ノ自ラ無害
 ニシテ正善ナルモノト雖モ若シソノ職分ヲ遂ルノ熱心ニ
 多少ノ障礙ヲナスコトアラハ斷シテ己ニ容スヘカラズ斯
 ハル注意ハコレ一ノ肝要トスル所ナリ蓋世ニ往々詰責ス

ヘカラサル怠情不勤ノ者アリ彼ノ勞苦スル所亦固ヨリ多
 シト雖^モ己ノ職分ヲ蔑視シテ惟他務ニ^{シテ}心ヲ勞シ之ニ
 因リテ終ニ各人ノ必^スノ務トシテ謹慎正實ニ遂クベキ社
 會ノ利益ヲ害スルニ至ル豈注意セサルベケンヤ
 第四大ニ勤勞ノ功效アリテ報賞ヲ得ルノ夥シキ意外ニ出
 テ或ハ聖書ノ所謂ル富ハ流ルハト云フニ至リタル時ハ我
 等必之ニ心ヲ附着スベカラズ又己ノ才徳功勞ニ由リテ之
 ナナセシトナスベカラズ或ハ此功效ヲ以テ人ニ誇ル^ル勿
 レ乃之ヲ視ル猶天ヨリノ降福トナシ至上ノ施恩者ニ熱切
 ノ報謝ヲナスベシ且神ノ聖誠ヲ遵行シテ以テ此降福ヲ當

然ニ成就スル^ルヲ勤ムベシ聖誠トハ即神ノ人ニ世ノ豊福
 ナ與ヘテ之ヲ降福シツ、誠メタルモノナリ曰ク苦者必爾
 ニヨラン又爾ハ孤者ノ救者ナリト(詩篇十四)是故ニ今世ノ利
 ナ正用シテ又永世ノ利ヲ求ムル^ルヲ計ルベシ
 第五恒ニ勤勞シテソノ功效ナキモ必夫望スル^ルヲナク又社
 會ノ裨益ヲナスノ働キヲ止息スル^ルヲナカルベシ夫レ功效
 アルモ功效ナキモ皆コレ天意ニシテ我等ニ關スル殆ント
 稀ナリ故ニ勤勞忍耐シテ之ヲ繼作スヘシ而シテ天父ノ我
 等ノ勤勞ニ報ユルハ固ヨリ其前後ヲ知ルベカラズト雖^モ
 其必之ニ報ユル^ル猶漁者ベ^トトルイアコフイテアンノ眞

ニ報テ天父ヨリ得タルカ如クナルヲ信シテ疑フベカラズ
 此漁者等ハ終夜勞力シテ網ヲ投スルモ一ノ魚類ヲ得ルコ
 ナカリシガハリストスノ一言ニテ其ノ得ル所ノモノ、夥
 シキ實ニ己ノ勞ニ餘アルノ報ヲ得タルト謂フベシ
 第六古聖哲ノ曰ク人飽暖ノ時ハ凍饑ノ時ヲ願ミ富貴ノ時
 ハ貧賤ノ時ヲ思フベシ光陰矢ノ如ク朝去リ夜至リ時移リ
 テ止マズト(シラフ十八ノ)二十五。二十六ノ我等所有ヲ費ヤス時ハ必注意シ
 テ智者ノ節儉ニ倣フベシソレ智者ハ勞苦ヲ他人ニ負荷セ
 ザルカ爲メ預シメ老邁疾病ノ用意ヲナシテ奢費客齋ノニ
 ツノ者ヲ避去スレバ我等モ亦此ノ智者ニ倣フテ勤ムベシ

夫レ奢費ハ一ノ罪科ニシテ恒ニ疾病窮乏ト相追從シ而シ
 前時ノ富貴ヲ想像セシメテ其心ヲ苦シメ且百行ヲシテ惡
 誘ニ陷イラシム即、人ヲ欺ムキ誓約ヲ犯シ及ビ其他ノ諸罪
 ナナサシムルモノナリ是故ニ奢費ハ人ヲ零落ニ陷イラシ
 メ其ヲシテ復不愧ニ至ラシムルコト甚タ易シ客齋モ亦一ノ
 罪科ニシテ人心ヲ司配シ人ヲ地ニ釘スルカ如シ且多クノ
 勞ヲ負ハシメテ他人ノ不幸究乏ヲ願ミザラシム剽サヘ尤
 モ近親ノ不幸究乏ヲリトモ毫モ之ヲ願救セザラシメ又善
 良ノ感ト眞ノ恩惠ヨリ出ツル所ノ神ノ喜樂或ハ諸ノ貞潔
 及生命、無罪ノ諸樂ニ當ラザラシム甚シキニ至リテハ人ニ

勸メテ所有ヲ求メシムルニ其ノ健康及他人ニ害アリテ毫
 モ信者ノ行狀ト合ハザルノ方法ヲ以テセシム使徒パウエル
 此客齋ヲ稱シテ偶像ヲ拜スルノ罪及ヒ諸惡ノ根本トナセ
 リ曰ク人若シ之ニ沈溺スレバ則道ニ背キ多苦ヲ以テ自ラ
 刺ストコロス三ノ五又或聖哲之ヲ稱シテ惡病トナセ
 リ曰ク客フエコシテ富チ己ノ滅亡ニ積ムモノハ世ニ往々之アリ
 是則惡病ナリト主イイススハリストス富人ノ喻ヲ以テコ
 ノ私欲ノ無智ナルヲ言ヘリ其言ニ曰ク無智ナルモノヤ今
 夜將ニ爾ノ魂ヲ索ントスレバ則備フル所ノモノ誰レニカ
 歸スルヤトルカ十二

社會ノ公務ニ對スルノ本分

夫レ信者ハ社會ノ公務或ハ生國並ニ教會ノ公務ニ對シテ
 「甲」必、左ノ如クナラズンバアルベカラズ即チ高位高職ノ者ハ
 其務弘クシテ人ニ善ヲ尽スノ便利ト働キノ多キト之ニ勝
 サルモノナキヲ顯ハスベシ「乙」位ノ高キニ隨ヒ義ヲ行フニ
 多クノ困難誘惑危急ニ遇フコアリ從テ此高位ヲ全ウスル
 ニ才能學識ヲ要スルコト殊ニ多キヲ顯ハスベシ是ニ由リテ
 之ヲ觀レハ社會ノ高位高職ニ就クモノハ必、左ノ六條ヲ遵
 守セザルベカラス

第一此高位高職ニ相應セント致々汲々スルモ必、強求ニ涉

ルベカラス又人ニ自ラ之ニ當ルカ如ク現ハサズシテ唯己
 ナ政府ノ權ニ^{マカス}委託スベシ否ラザレバ是レ高慢自負ニシテ
 靈目ヲ耀スノ最モ善徳タル一謙遜ノ足ラザルヲ露ハスニ
 異ナラザルナリ

第二社會ノ裨益ヲナストキ自カラ煩悶且微弱ナルベカラ
 ズ^{タトヒ}縱令功德功勞アリ又高職ニ就クノ權利有リテ之ヲ得サ
 ルモ不平ヲ懷カズ恒ニ己ヲ安セシムヘシ信者ノ生命運命
 ハ至智至善ノ父神ノ權ニアリ神ハ各人ノ才能才力ノ多寡
 ナ知リ且其量ニ隨ヒ以テ善ヲ賦スルヲ萬々人ノ及ハザル
 所ナレハナリ

第三政府ヨリ此ノ高位高職ヲ委託セラル、トキハ決ソ之
 ナ辞スベカラズ唯若シ其ノ内心眞ニ不當不能ナリト知ル
 時ニ之ヲ辞スルハコレ已ムヲ得ザル所ナリト雖也然カラ
 ズシテ徒ニ辞スルハ是何ゾ人ニ善ヲ尽スヲ好マズシテ已
 レ^{ホシマ、}擅コ行フニ異ナランヤ

第四此ノ職ヲ受ルニ當リ先ツ神ニ謙遜ノ情ヲ露ハシ又虔
 敬ノ感謝ヲ爲シ而シ後ニ之ヲ受クベシ或ハ又等級ノ昇進
 スルヲ視テ己ノ功勞功德ニ歸スヘカラス即、神ノ恩惠ノ以
 テ致ス所トナスベシ

第五此ノ高職ヲ視テ神ノ一大至重ノ事ト爲シ敬慎恐畏以

テ之ヲ勤メ我身ヲバ猶神ノ以テ人ニ恩惠ヲ與フルノ器具
 ト思惟スベシ且、人ニ運命ヲ與フルノ至上者ハ人ノ其賜ヒ
 シ善ヲ用ウルヲ以テ其ノ算定ヲ促カシ而シテ多ク賜ヒシモ
 ノニハ其ノ催促モ亦從テ多キヲ識ルベシ
 第六職位ノ高キニ隨ヒ高慢自負ヲ戒シムルヲモ亦恒ニ救
 主ノ諭訓ヲ記臆シテ之ニ心ヲ向フヘシ救主ノ言ニ曰ク爾
 等ノ中、大タルモノハ當ニ小トナルベシ首タルモノハ當ニ
 役トナルベシト（ルカ二十二）是レ蓋高位ニ昇リテ神前ニ輕
 視セラレサルカ爲メナリ即、神イイススハリストスニ縁リ
 テ上ヨリ之ヲ召スノ尊敬ヲ失ハサルカ爲メナリ（フィリツテ
 三ノ十四）

且、使徒ニ諭訓セラレシ如ク惡魔ト同ジク審判ヲ受ケザル
 カ爲メナリ（テイモフエイ前
 書三ノ六）

名譽或ハ高名ニ對スルノ本分

名譽或ハ高名ハ他人ノ我ヲ稱スル有益ノ事ニシテ信者ノ
 輕視スベカラザルモノナリ若シ之ヲ輕視スルコトアレバ「一」
 ハ以テ内心ノ高慢及ビ他人ヲ尊ハサルヲ顯ハスニ至ラン「
 二」蓋此高名ナル者ハ「甲」安意ヲ信者ニ得セシムルモノニシ
 テ是ニ由リテ他人ノ信服向心ヲ得、仇敵ノ惡言讒謗ヲ塞キ
 且此名譽アル者ト交際セントスル者ハ皆人ニ尊敬セラレ
 ベキ者ニシテ之ト相交ハルヤ一生適意ナル時日ヲ得ルコト

多ク以テ已カ爲メ實ニ教訓タルベキ者ナリ「乙」又彼ノ名譽
 アル者ト交際スル者ニモ安意ヲ得セシムルモノナリ何ト
 ナレバ人屢々其人ヲ議判スルニ唯之ト友タル名譽アル者
 ノ意見ヲ以テ其ノ議判ヲ決定ス然リト雖此ノ議判ハ眞
 實ノコトノミトナス能ハザルヤ必然ナリ名譽ノ要タル其レ
 至レリト謂ベシ是ノ故ニ聖哲ノ曰ク宜シク名譽ヲ遠慮ス
 ヘシ蓋コレ千金ヨリモ猶肝要ナリ善行ノ時日ハ暫時ナリ
 ト雖善キ名譽ハ唯永世ニ至ルモノナリト（シラフ四十一）
 第三蓋此名譽ナルモノハ殊ニ其ノ一般ノ働キヲ廣メ其ヲ
 シテ他人ノ種々ノ安意ヲ營ナムノ中保者トナリテ之ヲ扶

助スルモノナリ或ハ又保証人トナリ賞譽者トナリ願求者
 代稟者ト爲リテ不幸ノモノヲ救助ス又諸誘惑、諸妄信ノ根
 ナ絶ツニ其有力ナルコト甚タ強クシテ眞ノ宗教ノ知識及ヒ
 清潔ノ行ヲ廣メ之ヲ堅ウスルモノナリ（馬太五）
 然ルニ吾人此ノ名譽ヲ達スルガ爲メ或ハ無法ノ仕方ヲ用

井或ハ自負高慢ニ至ルコト往々之アリ故ニ信者タルモノハ
 必左ノ四條ニ注意スベシ

第一名譽ヲ本旨トスルコトナク之ヲ視ル猶高上ニ至ル目的
 ノ階梯トナスベシイイススハリストス之ヲ我等ニ訓諭シ
 テ曰ク爾ノ光當サニ人ヲ照スベシ蓋シ人爾ノ善行ヲ見テ

榮チ爾ノ天父ニ歸スト(馬太五)使徒ペートル亦信者ヲ勸諭
 ンテ曰ク異邦人ヲ照鑑スルニ正直ノ行ヲ以テセヨ蓋異邦
 人コノ行ヲ見テ神ヲ讚揚スルカ爲メナリト(ペートル前書二ノ十二)故
 ニ時トメハ必忍ンテ輕蔑ヲ受ケズンバアルベカラズ(馬太五ノ十)
 第二世上ノ譽ムヘキ者ヲ以テ眞ノ名譽トナスヘカラス乃
 ハリストス教ノ尤モ賞譽スル行狀性質ヲ名譽トナスベシ
 第三唯正シク名譽ノ名譽タル所以ヲ覺識セシモノ或ハ美
 質高聖ヲ尊ブモノ、談判ノミヲ尊用スベシ
 第四若シ人漫リニ我ノ名譽ヲ稱スルトキハ之ヲ受ル勿ク

授洗イチャアン及び使徒ノ例ニ倣フベシ(イチャアン一ノ二十。ノ十二。十。四。十五。) 二十七使徒行傳三

夫レ眞ノ名譽高名ハ斯ク善ナルモノニシテ信者ハ必之ヲ
 求ルヲ務トスベクンハ則宜ク之ヲ守ルヘキヤ明カナリ是
 故ニ成ルベクメエマ間斷ナク諸行狀ヲ完全ニ上達スベシ又一
 般ノ益ヲナスノ働ヲモ上達スベシ即チ良心及福音ノ教ニ
 隨テ行フノミナラス必不正ノ知識ナク人ヲ過失ニ陷シイ
 ルナク且爭論ノ小端ト雖凡人ニ開クナカルベシ又能ク
 己ノ言語己ノ舉動ニ注意シテ終ニ必平常ノ快樂ヲモ禁止
 セズンバアルヘカラズ蓋コノ快樂ハ他人ヲシテ信者ニ對

シ惡念ヲ起サシメ且他人ヲノ惑ハシムルモノナリコリン
フ前書
 九ノ然リト雖^レ縱令他人ヲ惑ハシ之ヲシテ惡念ヲ起サシ
 十^五ムルニ至ルモ職ニ就キテナスベキノ働キヲハ如何シテモ
 廢止スベカラズ我等ノ爲メニ他人ノ我ヲ思慮スルハ尤モ
 至重ノヲナレ^レ尙至重タルハ必、我等ノ良心及福音ノ教規
 ノ以テ論ス所ナルベシ
 夫レ信者タルモノ己ノ名譽ヲ保護スルニハ必先ツ他ノ攻
 撃オカス侵犯ヲ防守シ而ソイイススハリストス及ビ使徒パウエル
 ノ例ニ倣フベシ
 第一不正ノ構訟及ヒ詰責ハ沈黙シテ徐々ニ之ヲ破ルベシ
ソダヘ セメル シツカ

他人ノ詰責ハ我カ一般ノ働キニ障碍ヲ加フルニ至ラサル
 迄ハ必、黙止スベシ蓋他人ノ我ニ對シ不利ノ説ヲ爲スノ不
 正ヲ證ハサントスルハ遂ニコレ無益ノヲニソ爲ス可カラ
 ザルヲ爲サントスルニ異ナラズ且己ノ好譽易怒ヲ他ニ
 知ラシムルニ異ナルヲナシ

第二若シ其ノ訟ノ妄證ナルヲ見テ黙スルヲ得ズンバ平
 和ニ己ノ名譽ヲ防護スベシ馬太十二ノ二十九
 又訟者ニ對シテ其ノ中心ヲ刺スカ如キ嘲弄ヲハナスヘカ
 ラズ若シ彼レ我カ名譽ヲ公然衆ノ目前ニ侵ス^{アサ}アレバ必、
 裁判官ニ訟ヘテ之ニ吟味申開ヲ請フベシ使徒行傳十六ノ
三十五、三十八ノ

第三惡口ヲ防クノ正法ヲ求メンニハ必、社會ノ幸福ニ勤ムル熱心ノ増益ト完全ノ行狀ヲ第一トスベシ往昔未ダ野蠻ヲ脱セサリシ時己カ名聞ヲ保護セントシテ格闘スルモノアリ今猶往々之アリ唯信者ニ至リテハ何事ニ於テモ決メ斯、ル方法ヲ用ウルヲナシ其故何ソヤ蓋「甲」格闘ヲ以テ名聞ニ向フノ侵犯ヲ防カントスルカ如キノ愚盲ノ心ヲ抱カザルニヨル夫レ格闘スルモノハ唯世人ヨリ劍搏ヲ知ラザル卑怯ノ謗ヲ免ルト雖也其ノ他ノ我ヲ愚トシ我ヲ無感者トシ我ヲ犯哲者トシ我ヲ放蕩者トナスモノニ此ノ格闘ノ法ヲ以スルモ到底之ヲ証明スルニ足ラザルナリ縱令、此法

ヲ以テ其ノ訟ノ不實ヲ顯ハシ己カ名譽ヲ此侵犯ヨリ防護スルモ此ノ如キ証明法ハ無罪者ヲ罪ニ陷イラシムルヲ最モ易クシテ有罪者ノ其ノ罪ヲ免ガル、亦易クモノナリ「乙」若シ己ノ名譽ヲ保護スルニ此格闘ヲ以テスレバ遂ニ全ク神ノ恩賜ノ生命ヲ保護スルノ職務ヲ侮トルニ至ル故ニ能ク之ヲ戒必セスンハアルヘカラス「丙」信者ハ必、復讐ヲ禁ズベシ聖書ニ曰ク我カ愛子ヤ惡ヲ以テ惡ニ報ユル勿レ乃、之ヲ神ノ義怒ニ委ヌベシト（ロマ書十二）此格闘ヲ以テ事ヲ決スルモノハ全ク正教ニ違反セントスルノ情ヲ抱クモノニシテ即、仁愛ヲキ或ハ野蠻ノ剛復或ハ權威ヲ弄シ或ハ今生

來生ノ幸福ヲ受ルニ^{ウスキコロ}冷心ナルモノナリ然ラザレバ誰カ斯
、ル不當ノ法ヲ用キンヤ

世ノ幸福ニ關スルノ總論

凡ソ世ノ幸福ナルモノハ人間ノ權ニ屬スルモノニ非ズ乃
チ專ラ種々ノ物事ニ關係ス夫レ世ニ此ノ幸福ヲ全有スル
モノナキニ非スト雖凡コレ甚タ稀少ニシテ僅々千百ニ二
三ヲ見ルノミ其ノ他或ハ勞働ヲ極ハメ^{ツトメツトメ}黽勉、努力、夜以テ日
ニツギ諸事節儉ニシテ其法ヲ得ル者ト雖凡終身^{ヒシ}貧^{ソコ}乏ニ陷
イルモノ舉テ數フベカラズ又或ハ義者ニシテ衆人ノ尊崇
ヲ受ケ且至誠ノ功勞アリト雖凡終身世ニ名ナク却テ衆人

ニ輕視セラレ剩サへ^{ウスキコロ}窘^{ウスキコロ}透等ノ殘忍ニ身ヲ終ヘシモノ亦舉
テ數フベカラズ是ノ故ニ信者ハ必己ヲ省慮シテ使徒ノ我
等ニ訓諭セシ如ク惟少ヲ以テ足レリトスヘシ使徒曰ク若
シ虔敬ニシテ能ク足ルヲ知レハ利コレヨリ大ナルハナシ
抑々モ吾人ノ世ニ創生スルヤ一モ携ヒ來ルモノナシ然ラ
ハ世ヲ^サ逝ルニモ亦何ヲカ携ヒ去ラン此ノ理甚照々ナリ故
ニ衣食足りテ當ニ止ムヲ知ルベシト^{テイモフエ}前書六^{ノ六ヨリ八}
又信者ハ宜シク世ノ幸福ヲ上天ノ善樂ニ比シ而シ其ノ善
樂ハ世ノ幸福ヨリ尊キヲ知ルヘシ夫レ上天ノ善樂ナルモ
ノハ眞ノ令德善行ト相須ツモノニシテ此ノ令德善行ト相

合ハザルノ幸福ハ往々殃害ヲナスコト即、吾人ノ感情ヲ
 強ウシテ吾人靈魂ノ將サコ上天ノ善樂ニ進マントスルヲ
 妨タケ且常ニ善行令徳アルモノ、誠意ヲ以テ己ヲ慰快ス
 ルノ情ヲシテ薄弱ナラシムルモノナリ蓋天父ノ吾人ニ世
 ノ幸福ヲ賜ハザル所以ハコレ却テ吾人ノ爲メニ殃害ヲナ
 スコトアレハナリ若シ否ラザレバ天父ノ至仁ニシテ豈之ヲ
 吾人ニ賜ハサルノ理アランヤト

信者生命ノ快樂ニ對スル本分

夫レ人ハ靈物ニシテ思想感覺共ニ備ルモノナレハ自ラ生
 命ノ快樂喜悅ニ傾ムクノ心アリソレ純全ノ神、即、造物主ハ

萬物ヲ創造スルニ榮華ヲ極メ美麗ヲ盡シ以テ吾人ヲ此ノ
 中ニ生長セシム故ニ萬物皆神ノ榮光至仁ヲ我等ニ覺ラシ
 ムルノミナラズ我等ノ靈魂ヲシテ神ヲ敬畏スルノ感情ヲ
 發起セシム即、神ノ名ヲ以テ我等ヲ快樂喜悅ニ招キ以テ其
 耳目等ヲ樂マシムルモノナリ

然ルニ信者ハ物ニ感シテ快樂ヲ覺エ以テ其心身ヲ樂マン
 トスルニハ必、之カ際限ナカル可ラズ（コリント前書）而シテ此
 ノ感覺ハ己ノ靈性ニ對シ其害アルヤ否ヤヲ試ミ將タ之ヲ
 養ヒ之ヲ強ルコトヲ容スハ其危キガ否ヤヲ知リテ專ハテ戒
 心ヲ主トセズバアルヘカラズ其ノ戒心スヘキコト六アリ

今之レヲ左ニ舉ケン

第一 信者ノ容^{ユル}スヘキ快樂ハコレ聖書ニ命セラル、所ニ
反セザルモノニシテ己ノ健康財産名譽行狀ニ對シ毫モ害
ナキモノナルベシ

第二 此ノ快樂ヲ以テ己ノ主眼トセズ(路加十六)唯其心身

ヲ慰サメ且其腦力ヲ健固ナラシメンカ爲メナリト思惟ス
可シ而シテ此快樂ノ却テ肉身靈魂ノ勢力ヲ消費スルノ害ア
リテ苟モ他ニ益ナシト認ムル者ハ斷然之ヲ容ス可カラス
第三 此ノ快樂ノ無害ナルモノト雖モ時トシテ不淨ノ意或
ハ淫慾ヲ發起スルノ端トナル可キモノヲ忌^キ避^ヒセザルベカ

ラズ

第四 此ノ無害ノ快樂ヲ節シテ屢々之ヲナス可ラズ蓋シ
情慾ヲ醸スヲアレバナリ故ニ自^ミラ此ノ快樂ニ勝チ之ヲシ
テ己レニ緊要タラシムルナク其或ハ足ラザルヲアルモ決
シテ心身ヲ煩乱スルヲ勿ル可シ

第五 此ノ快樂ニヨリ己ノ身心ヲ樂マシメ以テ之ヲ神ニ
歸スベシ即「甲」神ヲ至上ノ施惠者或ハ此ノ快樂ヲ我等ニ賜
フ者ト思惟シ且我等ノ快樂スル所ハコレ其衷心ヨリ神ニ
感謝スルニ由ルトスベシ使徒之ヲ我等ニ訓諭シテ曰或ハ
食ヒ或ハ飲ミ何事ヲ論ゼズ必、榮ヲ神上帝ニ歸スベシト

〔コリント前書〕乙又或ハ來世ノ審判者或ハ信賞必罰者トス
 ベシ聖哲ノ曰爾小者幼童ノ時宜ク快樂スベシ爾幼童ノ時
 宜ク爾ノ心ヲ喜忻セシムベシ惟心ノ欲スル所目ノ視ル所
 ニ隨テ當サニ上帝此ノ諸事ニ於テ爾ヲ^{キク}鞠スルヲ思フベシ
 ト^{傳道九}是故ニ信者ハ此ノ快樂ヲ容ルスト必一般ノ規矩
 トナスベカラズ夫レ人ノ成長、生所、氣質、身位等ハ皆各々相
 異ナルモノナレハ此ノ快樂ハ彼ニ有益無害ナレトモ此ニ
 有害無益トナリ彼ニ容ス可クモ此ニ容スベカラザルコトア
 ル故ニ各人必甲慎テ自己ヲ顧リミ己ノ爲メニ如何ナル快
 樂ハ能ク恩惠ヲナスヤ否ヲ識認シテ宜シク其ノ或ハ容ス

ヘキヤ或ハ容スヘカラサルヤチ分別スベシ乙且唯己ノ職
 分ニノミ心ヲ注カヌ又他人ニ對シテ能ク注意シ而シテ使徒
 ノ定立シタル規矩ヲ保守スルコト當サニ嚴ナルベシ其言ニ
 曰食物我が兄弟ヲ惑ハサハ我レ永ク肉ヲ食ハサラン我カ
 兄弟ヲ惑ハスチ免レンカ爲メナリト
 〔コリント前書八ノ十三〕
 信者ノ不幸ニ對スル本分

夫レ人ノ世ニ處ルヤ會々不幸ニ際スルニ方リ信者ハ之ニ
 對シ如何ナル處置ヲナス可キヤノ問ヲ生スルニ至ルコトア
 リ
 不幸ニ二種アリ一ハ將來ハ不幸、即、懲戒ノ不幸或ハ不測ノ

不幸コレナリ
 二ハ現時ハ不幸或ハ目前ノ不幸コレナリ將來ノ不幸ニ亦
 二種アリ可除^{ハクベキ}ハ不幸不可除^{ハクベキ}ハ不幸コレナリ
 第一 可除^{ハクベキ}ハ不幸ヲ思察スルニ信者タル者必自方ノ及フ
 所ヲ尽シ或ハ睿智^{チエ}或ハ英敏^{スレ}ノ先見或ハ模範^{フホシ}タルノ名譽及
 ビ自ラ職務ニ勤ムルノ熱心ヲ以テ此ノ不幸ヲ我ヨリ除カ
 ズンバアルベカラズ
 不可除^{ハクベキ}ハ不幸ニ至テハ信者必主イイススノ例ニ倣ヒ精神
 ナ堅ウシテ之ニ當ルベシ蓋シ是レ神ノ至妙不測ノ意ヲ以
 テ吾人ニ許ス所ニシテ縱令何ノ罪無クモ必我等ニ及ブモ

ノニシテ決^{サトル}テ吾人ノ悟識^{サトル}ス可ラザル者ナリコノ故ニ信者
 ハ預メ戒心ノ其不幸ノ我不意ニ及ブ^{サトル}アルモ精神錯乱^{ミダ}セ
 サル様深ク注意スベシ斯クスルニハ必神ノ無量不測ノ聖
 旨及ビ之ニ對スル己ノ職務ヲ最上ノモノトセズンハアル
 ベカラス
 又若シ信者ニ此ノ不可除ノ不幸ヲ識認スル^{サトル}十全活潑ニ
 シテ其不幸ニ會フ毎ニ以爲ラク今日モ明日モ此處彼處ニ
 論ナク足ノ觸ル、所皆我カ不幸ニシテ且一毫モ我カ有ト
 スルモノナク又我カ身ヲ安置スルノ所ナシト思惟スレハ
 蓋シ不幸ニ備ルノ一端ト謂フベシ

然ルニ不可除ノ不幸ニ備ルノ最良法ハ即「甲」敬虔善行コレ
 ナリ人若シ不幸ニ會フ毎ニ猶約瑟ノ兄弟ノ如ク是レ畢竟
 我レ近隣兄弟ニ對シ或ハ罪アル故ナリ（創世記四十二）ト云
 ハ、此ノ人ノ幸福果シテ如何ゾヤ又常ニ富貴榮華ノ幸福
 テ極ハメシ者一朝零落シテ最不幸ニ遇フ時好シ虔敬ノ心
 ナ生スルアラハ其ノ甘慰如何ナルカ斯ノ如キモノハイオ
 ウノ如ク吾カ良心ニ訴ヘテ曰ハン我レ瞽者ノ目跛者ノ足、
 困乏者ノ父タリト（イオウ五廿九）
 「乙」我等閑居休息ノ時屢々洞察者カ我等ハ運命性命ヲ導ク
 ハ路ニ注意思慮スベシ蓋シ之ニヨリテ我等ノ運命性命ハ

常ニ全能至善ノ父ノ權内ニ在リト云フノ信服ヲ堅起シ又
 天父ノ施惠ハ我等ヲ永生ニ導キテ喜怒哀樂ヲ與フト云ノ
 信服ヲ堅起スルニ至ラン然ルニ誰カ思慮信服ノ深キ如レ斯
 モノアルヤ將タ誰カ幸福ヲ受ル全ク神ノ至思ニ出ルモノ
 トスルヤ且精神快樂ヲ覺ユル毎ニ感心ヲ此ノ施恩者ニ傾
 クルヤ若シ誰カ斯クナスモノアラフニハ其人不幸ニ際會
 スルニ方タリ必感歎泣涙綿々トシ心ニ堅望ヲ懷キ全心ノ
 從順ヲ以テ天ヲ仰キ言ハントス天ハ神ヤ爾ハ聖旨果ハ成
 レリト
 「丙」熱心ノ祈禱ナリ蓋シ我等ノ靈魂ヲ堅ウシ我等ヲシテ現

世易變ノ諸物ノ上ニ主タラシメ至智至善ノ洞察者ニ信服
カハリヤスキ
 スルヲ堅固ナラシムレハナリ主イイススハリストス曾テ
 躬行シテ我等ニ訓諭セリ馬二十九。四十六ノ日ク祈禱シテ誘惑
ミツカヲホコナラフ
 ナ免ルヘシトルカ二十六
 第二 我等必現世或ハ目前ノ不幸ヲ以テ「甲」己ノ利得ト成
 シ己ヲ善化セシムヘシ凡不幸ナルモノハ是レ蒙昧、不善、違
 法ノ自然ノ結果ニシテ我等ヲシテ罪ヲサレダ識クヤム悔セシムルノミ
 ナラス思慮辨別ヲ與フル者ナリ且我等ノ行狀ヲ正化シ我
 等ヲ善行ニ向ハシムルモノナリ其レ善行ナルモノハ今世
 ノミヲ限ルニ非ラズ即、遠ク來世ニ至ルモノナリ是故ニ縱

令、我身ニ適セサルノ不幸タリトモ必之ヲ以テ善ニ進ムノ
 階梯トナスヘシ蓋シ不幸ナルモノハ智慧善行ノ學堂ニシ
 テ天父ノ之ヲ我等ニ賜フノ主意他ナシ即、我等天ノ爲メニ
 己ヲ開發養成スルノ良法タルヲ以テナリ使徒曰ツ天父ノ
 我等ヲ責ムル恰モ子ノ如ク益ヲ我等ニナサンカ爲メ聖潔
 ナ我等ニ得セシメンガ爲ナリ凡ソ責ハ今時ニ於テ樂ミナ
 ラスシテ憂タルモ後乃チ公義平康ノ菓ヲ結ヒ之ニヨリテ
 練達スルモノナリトエツレイ十夫レ人ハ破ル可ラサルモ
二ノ一。十一
 ノヲ得テ之ニ安ズルモノ甚ク甚シスグレ縱令超凡ノ善人タリト
 雖モ猶未タ不満足ヲ懷キ時トシ不潔ノ慾望ヲ以テ本心

チ振シ遂ニ罪誘ニ欺チ取リテ之ニ陷イリ此ノ誘惑チ不潔ヨリ清潔ナラシムルコト不幸ヲシテ清潔ナラシムル如クナル能ハズ聖書ニ曰ク義人難多シト詩篇三十四又聖ダウイノ曰ク我レ難チ受ルト雖ヒ却テ以テ幸トナス爾ニ因リテ爾ノ禮義チ學フ我レ未タ曾テ苦難チ受ケズシテ我カ途ニ迷フ我レ今爾ノ道チ守ル故ニタトヒ難チ受ルト雖ヒ猶以テ幸トナスト詩篇百十九ノ七十一。六十七

「乙」現世ノ不幸チ忍テニ忍耐平和チ以テシテ憂愁失望ニ伏スルナク靈魂ノ所在チ失ナハズ己レノ職分チ勤メントスルノ熱心チ微弱ナラシムルコトナカルヘシ且己ノ運命チ

助クル不當ノ仕方ヲ容ル、コトナク義道チ以テ上天ヨリノ救助ヲ待チ洞察者チ怨マズ而シテ己チ慰藉スルニ常ニ左ノ喜意チ以テスヘシソレ不幸ハ永生及ヒ行狀チ精成スルノ道ニ於テ最肝要ノ賜恩ナレバタトヒ虔敬ノ愛神者ト雖ヒ屢々今世ニ在リテ大ヒニ苦難スルモノ夥多アリ即チ聖書ニ在ルカ如ク涙チ以テ之チ播キ喜テ以テ之レチ獲ルト詩篇百二十五斯、ル不幸ニ對スルノ務チバ「甲」イエススハリストス躬行シテ我等ニ訓誡セリ主イエスス屢々自己ニ及フキビシキ懲ノ危チ免レタリト雖ヒイチアノ四ノ一ヨリ四、八ノ五十七馬太三、五十一ノ五時既ニ至リシト目前ノ恐懼チ受ルニ儼然

己ヲ備具シ堅忍不拔ノ精神ヲ以テ之ニ當レリ(馬太二十六。五)而ソ天父ヨリ與ヘラレシ辛苦ノ益ヲ忍耐シテ之ヲ飲ミ以テ靈心ノ善及ビ聖神ノ危急存亡ノ秋ニ格臨イタリシムスルヲ顯ハセリ

「乙」此ノ現世ノ不幸ニ就テ尤モ明瞭ナル教ヲ主自ラ之ヲ我等ニ顯ハセリイイス曰ク我カ徒タラント欲スルモノハ當サニ己レニ克カチ十字架ヲ負フテ我ニ從ヘヨト(馬太二十四)彼ノ使徒モ亦同ク訓誡ヲ我等ニ垂レテ曰ク主ハリストスハ我等ノ爲メニ辛苦ヲ受ケテ其ノ例ヲ我等ニ遺シ我等ヲシテ其跡ニ隨テ行ハシム爾自ラ神ノ大能ノ手下ニ卑ウ

シ期ニ至リテ爾ヲ舉クルヲ致スヘシ(ペ一トル前書三ノ二十一。五ノ六)パウエル曰ク望ヲ喜ビ患難ヲ忍ビ祈禱ヲ恒トナスヘシト(ロマ書十二)

「丙」此ノ不幸ヲ忍耐スルニハ聖教ハ基礎モトタル眞理ヲ信ズルニ在リ夫レ世ニ神アリ其ノ神ハ即、我等ノ父ニシテ其ノ我等ヲ愛スル此ノ如シ我等ノ救贖ノ爲ニ己ハ獨一子ヲ措マズ我等ニ降シ、而シテ我等ノ罪惡ニ代リテ死セシメタリ此ノ獨一子ハ睿智ナル恩惠ヲ以テ我等ノ運命ヲ指揮スルモノニシテ時トシテ或ハ種々深奥悟識シ難キノ道ヲ以テ我等ヲ來生ニ導クト雖也來生ニ至レハ今生ノ辛苦艱難ハ變ジテ無極ノ喜樂トナルニ至ルヘシ且彼ノ獨一子ニ從ハ、如

何ナル大惡ト雖也我等ヲ制伏スルコト能ハズ是レ聖教ノ最
 モ至重ノ眞理タルユヘンナリ人誰カ忠信ヲ以テ此ノ高大
 慰藉ノ眞理ヲ受クルモノアラハ必、忍耐謙遜希望ヲ以テ最
 大ノ不幸ヲ忍フニ至ラン之ニ反ノ人若シ不幸ニ會シテ悉
 ク靈魂ノ所在ヲ失シ憂愁失望ニ伏シ洞察者ヲ怨ムモノハ
 己ノ行狀ヲ以テコノ眞理ヲ棄ツルノ照々ナルモノナリ
 「丁」又此ノ不幸ヲ忍耐スルニハ自己ハ安意ニ在リ蓋シ安
 意ヲ以テ此不幸ヲ忍耐スレバ從テ其靈ヲ高堅ニシ其ノ壯
 健ヲ護リ其ヲシテ諸不當ノ行狀ヲナサシメス天福ヲ受ル
 ニ當ラシメ又天父我等不幸ノ際ニ賜與スル所ノ善ト喜ヲ

以テ慰藉スルニ至ル然リト雖也不幸者ハ概ネ皆其ノ憂愁
 痛哀ニ伏シテ毫モ天父ノ賜與スル所ノ幸福及ヒ喜樂ヲ認
 ルコトナシ豈コレ哀シカラスヤ

第三章

信者ノ隣ニ對スルノ本分

信者ノ隣ニ對スルノ本分ヲ主イエイススハリストス短言ヲ
 以テ我等ニ訓誡シテ曰ク隣ヲ愛スル己ヲ愛スルガ如クセ
 ヨト(路加十ノ二十七)夫レ具サニ此大誠ヲ認識スルニハ必左ノ四
 問ヲ解スルヲ要ス(第一)隣トハ誰ナルヤ(第二)何ヲ以テ隣ヲ
愛スヘキヤ(第三)隣ニ顯ハスヘキ愛ハ如何ナルヤ(第四)如何

ナル働キト行トテ以テ愛ヲ隣ニ顯ハスヘキヤノ四問是ナリ。

隣トハ誰ナルヤ

イウテヤノ學師曾テ主イエススハリストスニ問テ曰ク誰カ我カ隣タルヤトイエスス之ニ答フルニサマリヤ義人ノ^{タトヒ}諭ヲ以テセリ(路加三十ノ七十)今此ノ諭言ヲ察スルニ吾等何人ニ限ラス之ヲ隣トスヘキヲ明瞭ナリ蓋主ハリストスノ隣ニ對スル本分ノ^{テホシ}鑑例トシタル(路加七十ノ)彼ノサマリヤ人ハ己レ未ダ聞識セザル不幸者ニ遇ヒ之ヲ救助スルニ其ノ己ノ友或ハ敵或ハイウデヤ人或ハ異邦人或ハサマリヤ人

ナルヤヲ預知スルヲ要トセスヒダスラ只管其ノ不幸ヲ視テ之ヲ救助シタリ

凡ソ世人ハ皆是レ我等ノ隣ニシテ我等ノ愛スヘキモノタルハ當然ノ理ナレトモ先ツ暫ラク之ヲ措キ外ニ隣トスヘキモノヲ求メ而シテ之ヲ愛スル必、他ニ^{テウ}超越スルヲ人前ニ顯ハスヘシ即、父母妻子兄弟親戚恩主朋友及ヒ同國人同教人は是レナリ是等ハ皆他人ニ比セバ吾等ノ最モ親近ナルモノニシテ神ノイズライリ人ニ誠命セラレシ時モ先ツ父母ニ對スルノ本分ヲ訓諭シ而シテコレヲ他ノ諸本分ノ基本トナセリ主ハリストスモ亦其ノ例ヲ躬行シテ我等ニ示サレタリ

即、主ハ十字架ニ釘セラレテ將サニ死セントスルキ己ノ母
 ナ願ミ之ヲ其ノ愛徒ニ委托シテ能ク之ヲ養ハシメタリ使
 徒^{バツエル}モ亦我等ニ訓誡シテ曰ク人若シ己レニ属スルモ
 ノヲ願ミズンバ是レ信ヲ棄ツルノ理ニシテ未ダ信ゼサル
 モノニ較スレハ尤モ惡シ是ノ如ク家屬ニ於テハ則尤モ甚
 シトナスト^{テイモフエ}前^{書五ノ八}又ガラテヤノ書ニ曰ク若シ機アラ
 ハ宜シク善ヲ衆ニ行フヘシ信者ニ至テハ尤モ宜シク切ナ
 ルヘシト^{ガラテヤ}六^{ノ十}如^レ此^キ印^認ハ我等ノ尤モ肝要トスル所
 ナリ何トナレバ我等有限ノ力ヲ以テ天下ノ人ニ專切ノ愛
 助ヲ及ス^レ能ハザレハナリ

何ヲ以テ隣ヲ愛スヘキヤ

隣ヲ愛スル^{コト}ニ就キ主^{イエイス}スハリストスト使徒ノ訓誡
 ノ外ニ又吾等ヲシテ注意セシムルモノアリ
 第一主^{イエイス}スノ神例コレナリ彼レ人ヲ愛スルニ由リ人
 体ヲ藉リテ人トナリ以テ人間ノ將サニ亡滅セントスルヲ
 救ヘリ而シテ其諸行ノ以テ世上ニ顯著シタル所以ノモノハ
 皆其愛ノ働キニヨル斯ク主ハ愛ノ爲メニ^{ヒドキ}苛酷ノ苦ト耻辱
 ノ死ヲ忍ヒ受ケリ
 第二明智ノ思慮及ヒ情欲ニ^ソ浸染セサルノ心感ナリ吾等若
 シ此思慮ト心感アレハ彼ノ^{サマリヤ}人ノ行ニ倣フモノナ

見ル毎ニ其良心必言ハシヨレ則美善良貴ノ行狀ニシテ人ノ當サニ行フヘキモノナレハ爾宜シク此ノ如ク之ヲ行ヘヨト

第三吾ト我兄弟間ニアル盟接ナリ盟接トハ即「甲」吾人ハ人間社會ノ會員ニシテ共ニ相交ハルヤ猶四支百体ノ如ク「乙」大族ノ家人ノ如ク及ビ天父ノ子ノ如クナルヲ謂フナリ
第四仁慈ヲ以テ得ルノ大賞ナリ即「甲」今世ハ賞「乙」來世ハ賞コレナリ

「甲」今世ノ賞「夫」人ヲ愛スルモノハ諸善行ヲナスモノ、如ク既ニ現世ニ在リテモ種々ノ方ヲ以テ其功ニ報賞セラレ

即、眞實ノ愛以テ其心ヲ悅樂スルナリ聖書ニ曰ク隣ヲ愛スルハ是レ幸福ヲ欲ルナリト噫、此ノ如キモノハ縱令困患危急ノ時ニ當リテモ良心ノ喜悅果シテ如何ゾヤ且ツ眞ノ恩者即、仁慈ノ友ナルモノ其貧窮ノ時ニ當リ何如ニ慰藉堅忍ヲ有スルヤ此ノ如キモノハ恰モイテフノ如ク良心ニ訴ヘテ言ハシ我、ハ、乃、瞽者、ノ、目、跛者、ノ、足、弱者、ノ、父、ナリ、ト

「乙」來世ノ賞「夫」人ヲ愛スルモノハ來世ニ至リ其賞ヲ得ルノ大ナルコト今世ノ比ニアラズ百事百物ハ皆此世ニ終レハ惟眞愛ノミ來世ニ至リ仁慈ノ友ノミ天國ニ入ルテ能クス
コノ國ニ入ランニハ吾等預メ己ヲ備具シ己ヲ開發セス

ハアルヘカラス蓋審判ノ日ニ當リ夫ノ判官ニシテ人ノ諸
行ニ報ユルモノ何人ニ向フテカ左ノ言ヲ發スルヤ曰ク我
カ父祝スル所ノ者ヤ來リテ創世以來爾ノ爲メニ備フル所
ノ國ヲ嗣ケヨト（馬太二十四五）コレ實ニ眞ノ恩人、眞ノ仁慈ノ
友ニ向フテ言フ所ナリ

隣ニ顯ハスヘキ愛ハ何如ナルヤ

夫レ人ヲ愛スルノ愛ハ恒ニ必、恭敬ト相須マタスンバアルヘ
カラス而シテ其之ヲ興起スルハ人性ノ高德及ヒ人性ノ主
眼ナリ聖使徒パウエル之ヲ我等ニ（コリント第一）ハ附シテ曰ク（ロマ十）斯
レバ則相友トシ長々ヲ論ズレバ則相讓ルヘシト

、ル愛ノミ人ニ施捨スルノ働キニ源因ス而シテ恭敬ナキノ
愛ハ人ノ善行ノ清潔ヲ害スルヤ大ナリ

或、理學者ノ認ムル所、實ニ聰明ト謂フヘシ曰ク（萬有ノ世界）

ハ、求心、遠心ノ二方ニヨリテ成立シ神靈ノ世ハ愛ト恭敬ト

ニヨリテ成立スル者ナリ愛ハ種々ノ實體ヲ引集シテ恭敬

ハ之ヲ齊整保護スルモノナリ而シテ求心ト遠心トハ萬物ノ

總テノ始元ヲナスカ如ク此ノ愛ト恭敬モ亦靈生靈行ノ總

テノ始元タル一教法ヨリ顯ハル所ノ二類ナリト

吾等必、貴賤上下ノ別ヲ問ハズ共ニ恭敬ヲ尽スヘシ蓋各人

皆、人性、人爵ヲ有スルモノナレハ恭敬ヲ行フ可キハ固ヨリ

當然ノ理ナリ是ニ由リテ之ヲ觀レハ我儕ハ必、縱令極惡ノ
 人ト雖^モ決メ輕蔑スヘカラス其罪惡ハ必之ヲ賤惡^{セン}忌厭ス
 ヘキモ其人ニ至リテハ自^ラ我等ノ哀憐ニ當タルヘキ者ニ
 ノ恰モ貧人ノ其地位ヲ知ラス且守ラスシテ眞ノ悦ビヲ以
 テ己ノ生命ヲ慰藉スルナキカ如キ者ナレバ我儕タトヒ之
 ヲ輕蔑シ之ヲ疎遠シテ救援ノ術ヲ施サズト雖^モ哀憐ノ情
 ハ我儕ヲシテ之ヲ愛シ之ヲ化スルニ心ヲ勞セシム此ノ
 ニ就キ主^イイズスハ我儕ニ大ナル規^テ範^ヲ顯ハセリ又主ノ
 稅吏罪人ト會話セシ時之ヲ詰責セシフアリセイニ答ヘタル
 言モ亦我儕ノ規^テ範^{ナリ}即、一ハフアリセイノ人ヲ輕蔑スルカ

如キテ我等ニ誠メニハ我等ヲシテ人ヲ憐ミ助ケテ之ヲ正
 化^{ナラス}セシム

夫レ人ニ於ルノ愛ト必、相須ツノ恭敬ハ徒ニ我等ヲシテ人
 前ニ平伏シ之ガ奴隸トナリ之ニ阿諛スルカ如キハ決ノ之
 ヲナカシメザルナリ若シソレ此ノ如キ卑屈ヲ行ハバ却テ
 コレ人ヲ尊ブノ薄キヲ顯ハスニ足ルノミ何トナレハ斯、
 ル行狀ハ人ヲシテ高設自負シ其心ニ惡意ヲ懷カシムルモ
 ノナレハナリ

敵ヲ愛スルヲ

凡ソ人トシテ敵ナキモノナシ我等一ノ誹ルベキナク其行